京城日報

廿四日夕刊

定價 本紙 一部金五錢 一ケ月金六十五錢
廣告料
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

汽車時間表（七月十日改正）

[illegible]

◎伊太利報復範圍を擴ぐ

羅馬來電に曰く、伊太利政府は一千七百十五年六月墺太利に對して採れる報復手段を敵國全部及び其の同盟國に適用するの布告を發せり（紐育電報）

◎リガ南方敵戰線突破

露都來電に曰くリガ南方に激戰あり露軍は數個地點に於て獨軍第一線を突破せり（紐育電報）

◎井上大使倫敦出發

井上大使夫妻は二十二日米國に向け倫敦を出發せり皇帝御名代外務次官ハーディング卿其の他の名士停車場に大使を見送れり（倫敦電報）

◎支那國會開會延期か

某當局者は曰く、上海に集まれる議員側は政府の發せる召集を不法と認むる者多く從つて八月一日開會式擧行の如き眼中に置かず今日迄の入京議員少なきも其結果にて國會開會延期を免れざるべし又改造派の務際の承認、常政派懲罰等の問題附議せらるゝ模樣にて國家の前途寒心に堪へず（北京電報）

◎廣東總攻擊開始さる 居留民保護準備成る

岑春煊の武力解決命令と共に廣東總攻擊開始せられ龍濟光廣東省城を引揚げざる限り同地は戰亂の巷と化すべく我當局にては居留民保護に關し何時にても臨機の手段を講じ得る樣準備を完成せり（東京電報）

◎對支謬見を說く

新に着任せる駐日支那公使章宗祥氏は邦人の對支謬見に關し忌憚なき論評を試み其內幕を暴露せり（大阪電報）

◎工場法施行令

樞密院に於ては來る廿六日委員會開會工場法施行令を諮詢すべし（東京電報）

◎鈴木局長動靜

本月十九日咸鏡南道咸興より長津方面に向ひたる鈴木土地調査局長は咸興出發以來殆んど人界と隔絶すること五日豪雨に逢遇すること數回途中土地調査外業員が各所に健鬪する狀況を視察し二十三日長津に着し二十四日は滯在視察の上廿五日平安北道江界に向ふ由（江界電報）

◎佐藤博士歸任

京城衛戍病院長佐藤恒丸氏は二十四日朝連絡船櫻丸にて釜山着同十時三十分發列車にて京城に向ふ（釜山特電）

◎國會と副總統問題

國會開期の太だ接近せる昨今來京議員は何ほ少數なるを以て國會事務局に於ては通告を特發して其來京を督促しつゝあるも多分八月一日迄には法定議員數を得ること能はず開會は半箇月位延期して同月十五日頃となる可し猶開會後の議事順序は最先に副總統選擧問題を解決して後內閣追認問題に移ることに南方領袖側と北京政府間に已に協定成立せり而して副總統候補者としては今の處多數議員の意見は段祺瑞氏にあるが如し（北京）

◎支那南北軍隊 最近調査現在數

雲南に革命軍起りてより以來南北共に軍隊の增募に努め最近の調査に據れば現在軍隊總數は一百十萬人にして即ち左の如し

▲直隷十一萬四千人▲湖北七萬人▲福建四萬三千五百人▲湖南六萬二千人▲黑龍江一萬八千人▲江西一萬八千人▲浙江四萬七千八百人▲閩西五萬五千七百人▲江蘇十一萬六千人▲廣東十五萬九千人▲雲南四萬三千人▲奉天三萬一千三百人▲山西二萬八千七百人▲河南四萬九千五百人▲山東二萬七千人▲[illegible]千人▲四川六萬四千一百人▲吉林一萬二千人▲陝西二萬人▲甘肅一萬五千人▲新疆一萬七千人▲伊犁九千人▲熱河二萬四千二百人▲綏遠一萬三千人▲京兆三千六百人

◎北滿古鐵激騰

我が國に於ては露國軍器の注文多大なる爲め總材料價騰貴し且つ供給不足を告ぐるを以て昨今哈爾賓地方に於て古鐵を買收することゝなり日々其多量を浦鹽より內地に輸送しつゝあり爲めに同地方に於ける古鐵古物時價の激騰を見たりと（哈爾賓）

◎在滿邦人激增

關東都督府の調査報告によれば本年六月末に於ける滿洲在住邦人は都督府管內居住の軍人及び朝鮮人を除き九萬九千九百九十一人にして一月末より二千五百人の增加を示せり內男五萬四千三百四十二人女四萬五千六百四十九人男百人に付き女八十四人の割合之れを地方別とすれば關東州內五萬一千百二十九人、州外鐵道附屬地三萬六千〇七十人、領事館管轄一萬二千七百九十二人なりと

◎蒙匪一部の潰走

過般來黑龍省搭子溝に現はれたる蒙匪は目下洮南附近に南下しつゝあるが其一部は巴布札布の分隊にて索倫山を超へて東來し陶什陶の名を假り宗社黨總司令升允の佈告を沿道に貼附し掠奪を擅にしつゝありしが三省聯合軍の爲めに擊破せられて索倫山方面に遁走したりと（奉天）

◎王家天機奉伺

李王、李太王及び李堈公、李埈公各殿下は二十四日朝使者を總督府に派し兩陛下並に皇太子殿下に對し奉りて暑中の天機及び御機嫌奉伺の儀を依賴されたり

◎總監天機奉伺

山縣政務總監は二十四日朝李王家の御依賴に依り暑中の天機奉伺を傳達すると共に宮內大臣に宛て兩陛下並に皇太子殿下の天機及び御機嫌奉伺方を電請したり

◎所得稅法公布

所得稅法中の一部を朝鮮に施行するの件は勅令第百八十三號を以て公布されたり、本令は既記の如く內地の所得稅法中法人の所得稅に關する規定を朝鮮に施行するものにして其の第三十六條乃至第三十九條の規定は之れを除外したり其の施行期は八月一日なり

◎所得稅法と京城府

所得稅法の一部を朝鮮に施行するの件は二十二日勅令を以て公布され同法中の所得稅に關する規程は之を朝鮮に施行することゝなりたる由は既報の如くなるが京城府は同法の示す所により管下の法人に對する事業の經營狀況に就て調査中なるが從來京城府より法人に對して課稅せるものは營業稅のみなりと

◎酒稅令公布

朝鮮酒稅令は制令第二號に依り二十五日の官報を以て公布のことゝなれり、同令は全文五十三條より成り、朝鮮酒は一石七十錢日本酒は一石五圓を課稅し、輸移入酒に對する消費稅も亦清酒一石に付き五圓を賦課す、其の實施期は既記の如く九月一日なり

◎七十八聯隊檢閱

去る二十日より施行中なりし龍山步兵第七十八聯隊第二期教育檢閱は二十三日を以て終了したるが二十四日午前九時より聯隊に於て立花師團長市川旅團長臨場の上池內聯隊長の總評ありたり

◎市川少將歸任

龍山步兵第三十九旅團長市川堅太郎少將は廿四日午後九時五十分南大門發歸任せり

◎木村理事東上期

株主總會列席の爲め朝鮮銀行理事木村雄次氏は二十六七日頃出發東上する由尙大原秘書役の東上は八月初に入るべしと

◎石井宮內御用係

石井宮內省御用係は廿二日釜山着同日直に馬山に向ひ馬山及び鎭海の視察を爲し廿三日釜山に引返したる上廿四日より廿八日にかけて海路蔚山に到り慶州方面の視察を爲し浦項に出で廿八日同地發大邱大田を經て群山に到り廿九日群山發入京の豫定なり

◎股野氏赴任

鮮銀系統に屬する浦鹽松田銀行部にありし股野琢之氏は今回本店調査室に勤務する事となり此程東京を經て着任主として日露關係及び露國事情の查察に當るべしと

◎全北水害救助

本府二千六百餘圓を支出

全羅北道管內に於ける六月十三日以後の豪雨出水の被害中一時炊爨の途を失ひたるものに對しては主として地主又は隣保相倚りて焚出救助の途を講じたるも尙ほ其の及ばざるものに向つては道廳に於て焚出しをなし以て其の救濟に努めたるが、また稻苗腐敗せるものに對しても地主又は緣故等各種糧を支給して稻田の速成、直播、秧分等の善後策を講じ其の及ばざる者に對しては道は凶歉救濟費中より八百六十石の種籾を購入迅速に配付して以て應急策に遺憾なきを期せり、而して家屋の被害中隣保相扶くるを得ず、緣故相賴る能はざるものに對し道は流失、全潰、半潰等其程度に依りて相當の金額を支給救濟に盡したるも、之れに就きては尙ほ及ばざるもの少からざるを以て過般李道長官より總督府に打合せの結果、今回罹災救助基金中の一部を割きて二千六百二十三圓を補助することとなり二十四日右金額を發送せり

◎グリーン氏入京

トーマスクック東洋總支配人グリーン氏は二十日入京朝鮮ホテルに投宿し二十三日は碧蹄館を視察せるが尙一兩日滯京すべしと

◎サ財團役員會

サルタレル財團創立第一回役員會は廿四日午前十時より總督府第一會議室に開會、石塚、荒井、宇佐美、小松の各役員出席し財產支出の途に就き協議する處あり結局其の半額は之れを內地に送りて使途を託し殘部は之れを基金として慈善救濟の資に充當する事に決し十一時散會したり、因に同財團の現在金額は二萬九千圓なるが別に本年上半期分の一萬五千圓は二十日までにサルタレル孃より發送したる筈なり

◎高等地查委員會

二十四日は高等土地調查委員會日なるも銀支店貸付及びサルタレル財團役員會を開催せる爲め休會となれり

◎閔男爵葬儀

去二十日卒去せる男爵閔種默氏の葬儀は二十七日午前十時笠井町自邸出棺翌二十八日高陽郡碧蹄面沙里峴の墓地に埋葬し二十八日午後六時獨立門前に於て返虞式を行ふ可しと

◎モ顧問出發

朝鮮ホテルにて休息中なりし支那政府顧問モリソン氏は廿四日午前八時三十分發急行にて出發東京に赴けり

◎養成員講習會

京城中學校附屬臨時教員養成所第一二回卒業生の講習會は二十五日より京城中學校に於て開催の事となり講習期間は一箇月にして每日午前開會受講者は四十五名なり

◎警官練習所卒業式

警官練習所にては第二十回卒業生八十五名に對する卒業證書授與式を二十四日午前十時擧行古海警務總長山形憲兵大佐大橋高級副官其他市內各警察署長出席卒業生に對し古海總長より一場の訓示ありたり

平壤

▲札幌農科大學生來壤　札幌農科大學教授[illegible]川靜吾外同大學生[illegible]戶乙熊外四名は同大學教授[illegible]氏引率二十二日午後三時三十分來壤平安南道種苗場を視察し旅館柳屋に投宿したるが二十三日は午前八時より牡丹臺乙密臺等の戰跡を觀察し箕子廟に詣で午前十一時發列車にて新義州に向ひたるが一行は安東大連旅順を經て更に朝鮮に引返して歸還すべし▲臨時淸潔法執行　平壤府に於ては夏季臨時淸潔法を七月二十一日二十二日の兩日に渡り執行したるが其方法は下水の改築及び沈滯せる汚物の掃除を行ひたり▲監查官來壤　土地調査局監查官吉田幸三郎氏は二十二日京城より來壤旅館柳屋に投宿せり

城津

▲城津貿易と甲山銅鑛　城津港に於ける客月中貿易狀況を聞くに輸移出五萬八千五百三十五圓にして前年同期に比し輸移出に於て三萬一百二十七圓輸移入に於て四萬五百十八圓の何れも激增を示せり即ち客月は各地方共生產の順調なりしに依り乾鰮魚、鐵鑛、黑鉛及び牛皮等に至るまで著しき出超を來せると酒類、布類及び各鑛業用品の移入旺盛なるに基因せるものなるが今後甲山銅鑛の移出開始の曉は更に一層の活況を呈するに至るべしと▲金融依然緩漫　城津港客月の金融狀況は概して依然緩漫なりしものゝ如く三四月頃に至り大豆移出の一段落を告げたるに依り爾來市況閑散を持續し客月に入り僅に細布類の小口貿行ありたる外何等著しき材料なかりしが幸に沿岸鰊漁等の出廻りは延いて資金の需要を喚起し中旬來漸く繁忙に傾き農銀支店貸出高の如き前月に比すれば稍增加せりと雖も未だ大勢を挽回するまでには至らざる由

元山

▲元山海路貨物統計　元山港本年上半期海路貨物出入噸數は輸移出一萬三千七百五十九噸輸移入一萬八千二百六十二噸運送內國貨物四千九百八十七噸運送外國貨物一萬七千九百八十三噸積戻貨物二十噸合計四萬七千八百二十一噸に上れるが之れを前年同期に比すれば一萬四百五十九噸の增加を示せり▲海開き準備　來る八月一日を卜して擧行さるべき元山海開きの件に就き商業會議所に委員會を開催したるが爾後着々準備進捗中なり▲小學校長後任　元山公立尋常小學校前校長關秀氏の後任は平北昌城普通學校長松尾百合之助氏と確定し一兩日中に着任の筈なり

釋王寺

▲釋王寺の鮎飼育　京元線釋王寺の溪流に鮎養魚場の施設あり同寺は溪流に沿ひて養魚場の增殖を圖り以て安邊郡の名物としより以上產額を多からしむる目的にて總坪數五十坪の池を設け昨年十二月虹鱒壹萬尾孵化せしを始めとし次で本年六月に至り鮎（鮎の一種）三千尾を孵化せしめ目下飼養中なるが其の成績頗る見るべきものあり尙ほ前記虹鱒の中三千尾は去る四月頃既に釋王寺の溪流に放ち殘部の虹鱒及び鮎は今尙池中に飼養されつゝあるが同養魚場に於ては一大養魚池を大規模にしたる上本秋は安邊川に棲息せる在來種の試養並に米國より輸入の河鱒（ブルークトラウト）を孵化せしめ稍成長したる後三防の瀧に放ち漸次繁殖に努むる計畫なりと

仁川

▲商議と來年豫算　仁川商業會議所にては來る二十五日午後一時より役員會を召集し大正六年度同所豫算編製の件に就き協議を遂げ二十七日午後一時より定時評議員會を開會し同件に付決議する處あるべし▲參謀部員來仁　朝鮮南岸及び西岸港灣調査の爲め兩三日中に參謀部員神大尉來仁の上築港其他の調査を遂ぐべし▲久水府尹臨場　仁川府尹久水三郎氏は目下開始中の仁川商業專修學校水泳場（猫島海岸）に公式を以て臨場し熊谷校長より詳細なる報告を受け水泳練習の狀況を視察せり▲豺捕獲授賞　仁川花町二丁目土井又治同高田文平宮町岸本當助の三氏は客月二十二日仁川警察署管內富川郡桂陽面山中に於て豺三頭を捕獲したる廉により今般京畿道警務部長隈部大佐より右三名に對し金四十五圓規定の賞與金を下附せり▲楢岡氏來去　內務省屬官楢岡徹氏は府事務狀況其他一般視察の爲め二十三日來仁し前記外仁川神社築港工程詳細なる調査をなし同夜は義兄なる永井土木局出張所長宅に一泊二十四日朝京城に向ひ出發せり

人事消息

▲篠田顧氏（晋州支廳檢事）二十四日朝退京
▲砂山勘氏（門司バゲナル、ヒレス會社員）同上
▲小網元司氏（鎭南浦久原精錬所）同上
▲森田榮吉氏（木浦精米所長）二十三日夜入京
▲小林眞氏（伊藤家家庭教師）同上
▲李垈北道長官 入京中の處廿四日朝出發歸任
▲白井水城氏（開城辯護士）廿四日入京

和洋家具 室內裝飾品商 指物一式
平壤壽町三二一番地 長谷川善次郎 電話七四九番

文學博士 物集高見先生著
廣文庫と羣書索引 豫約募集繼續廣告
資料の豐富內容の充實は今更御吹聽致す迄もなき事で各方面に廣く汎ねく座右缺く可からざる必要の著述であります而して一般の要求は締切後の今日猶は續々注文照會がありますので更に再び豫約方法を繼續する事に致しましたから倍舊の御申込みを願ひます
京城府大平通り一丁目 合資會社 京城日報社代理部（振替口座京城三〇〇番）

醇良清酒 白鶴
仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番

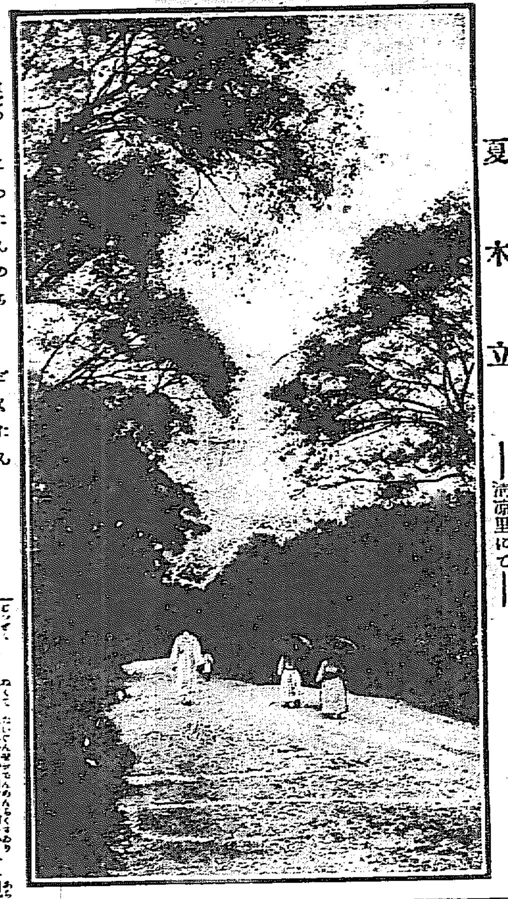
襲名披露
謹啓時下酷暑之候各位益御隆昌之段奉慶賀候陳者先代吉藏在世中は永年御得意樣各位の御引立を蒙り御高庇に據り日增發展致居候段洵に光榮の至り謹而奉感謝候就而從來私儀本名村谷正夫を擧げ居候處亡父の遺言に據り今回村谷吉藏と襲名致候に付何卒御諒承被下度猶今後とも倍舊の御愛情御引立の程偏に奉希上候 敬白
大正五年七月
仁川本町一丁目 村谷正夫改 二代目 村谷吉藏

祝仁川支局發展
鑛山 鐵道 工事 ダイナマイト火藥 在品豐富 低價供給
仁川 共榮社 電話長七五番

平壤名產 子持栗と人參煮武飴 [一部判讀困難] 秋鹿商店

陶器卸小賣 金物 漆器 其他世帶道具一切取揃申居候
平壤南門町 秋鹿陶器店 電話十二番

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他 油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 電話九七三番 振替口座京城四〇〇番


夏木立 ―清涼里にて―

●初は日探後には獨探
常陸丸にて送還された朝鮮人

二十三日神戸入港の郵船會社歐洲定期船常陸丸には駐英日本大使館より送還されたる一名の朝鮮人あり黄海道生れの安鳳根(三九)とて一昨年四月獨逸人ヨセフ、ウキルヘルムといへる宣教師に伴はれて獨逸に赴き間もなく開戰となりしが官憲より

△日探の嫌疑 にて捕へられバ、リアの監獄に投せられ嚴重なる取調を受けしかどウキルヘルムの證明によつて嫌疑晴れしも入獄中病氣に罹り出獄後敵國に留まつて療養中の處本年四月全快し駐獨和蘭領事の好意にて倫敦の

△日本大使館 に引渡され常陸丸にて送還されしものなり神戸入港後其筋にては同人に獨探の嫌疑ありとして取調べしが午後零時四十六分の下の關發の急行列車にて所要の爲め福岡俘虜收容所に赴く由往訪の記者に語りて曰く『私は

△機械の學問を 致したいと思ひウキルヘルムさんに伴はれて獨逸にまゐりましたが日探の嫌疑にて投獄されヤツと疑ひは晴れて放免されましたが病氣の爲め本年四月まで四面楚歌の敵地に留まつて居ました戰時中の獨逸は中學以上の學校は殆ど休校し中學校に於ても

△一日三時間の 課程の外は兵式操練のみです、物價は著るしく暴騰し一斤三十錢位の肉が一圓二三十錢にて一日の宿泊料最低五圓といふ突拍子もない騰り方です又百姓は冬季の閑散時には出陣し夏季の田植時から

△秋の收穫期 まで除隊されて居ります。私の居つた村落は一萬二千の人口がありますが八百名以上召集され其の内一割以上に死傷者がありました、一體の獨逸の新聞は正直で敗戰なども赤裸々に報道して居ります、獨逸人はまだ二三年は戰爭が續くやうに思つていづれもその覺悟をして居るやうです(大阪)

●獨力離礁困難
▽坐礁せる練習艦笠置

練習艦笠置は廿日午後三時小室蘭より大湊へ航行の途中濃霧の爲め進路を誤り渡島國龜田郡尻岸内と戸井村の中間六十間の沖合に坐礁せる事は既報の通りなるが附近に假泊中なりし汽船有川丸が引卸に努めたるも効なく沖合へ錨四挺を投じ獨力離礁を計れるもロップ切斷して見込なく廿一日午後五時の滿潮時を利し引卸しを企てしも是亦無効に歸せり大湊要港部より錨及びロップを取寄せ二十二日の滿潮時を俟つて引卸しに著手す可し廿二日午後五時の狀態は離岸に併行し潮流の爲め陸に向ひ七度傾斜し益々傾斜するを以て海底を掘り傾斜を防ぎ居れり(東京)

◇李王世子鵜飼御覽

李王世子殿下には來る二十七日岐阜着同夜長良川に於ける御料鵜飼を御覽玉井屋に一泊二十八日は養老公園養老瀑布等御覽同夜は公園千歳樓に一泊廿九日御歸京の御豫定なるが岐阜市にては去明治四十一年八月十九日韓國皇太子として故伊藤統監と共に御來遊の際乘用の市有船迎鶴丹(故伊藤公の命名せしもの)を御用船に充て長良川上流にて篝燈流し細工煙火等を打揚げ旅情を慰め鮎其他の名產を獻上すべく又大垣町にては養老より御歸京の途次大垣公園に案內申上げ舊大垣城天主閣の登臨を乞はんと目下夫々準備中なり(大阪)

●豺の大群現はる

咸南德源郡から安邊郡に亙りて近來ヌクテの被害頻出の有樣なるが一兩日前にも豺の大群赤田面洛水里に現はれ折から畑の附近に居たる豚五頭を噬へ去りしのみならず附近の畑一面を荒して姿を匿せし由にて附近農民は目下其驅除方法を講究中なりと

●馬賊頭目怒る

馬賊の頭目包老疙疸は鞍山站の西一里の所にて部下中に討伐の官兵に款を通じ裏切せんとする者ありとて憤怒し內二名を慘殺せり支那官憲は包を追擊すべく討伐隊を增派せり我が官は附屬地を警戒中(遼陽)

●自動車班出發

輜重兵第四大隊に滯在中なる陸軍自動車班は二十四日朝大阪發歸東の途に就きたるが八月一日東京著の豫定なりと(大阪特電)

●敷島艦上の椿事

敷島艦射擊演習中俄然六吋砲破裂し死傷者十數名を出したり(東京電報)

●元山の大相撲

東京大相撲二日目の廿四日は夜來の雨早朝より晴れ渡りたるを以て各種の團體を初め一般の觀客續々入場し初日に劣らぬ盛況を呈せり(元山特電)

□外蒙を風靡す 大蒙大皇帝
▽白髮の仰ぎ見れて ▽太子に讓位を勸む

北邊の匈奴南面して漢祖と仰がれ女眞も時運に會しては金の朝を擧ぐ由來支那の歷史には在り勝の事とは云へ今度天下の秘密國肥謨たる大蒙の一角に大蒙皇帝と稱する

◇一人の怪傑 が現はれた外蒙古獨立の中心地となつて居る車臣汗の南部に蟠踞する蒙匪に托什托と云ふ頭目が居る部下に屬する匪賊一萬は此の男の頤の振り樣一つで自由自在に働き掠奪劫掠遠近に至らざるなく附近の住民は其の名を聞てさへ

◇戰慄する程 の勢である昨秋北京で袁世凱氏が帝制運動を始めたと聞いた托什托はハッタと膝を叩いて之れあるかなと大呼し直に部下を集め羊を屠り高粱酒を供へて天を祭り自ら大蒙大皇帝と宣言するや一萬餘の部下は何れも北面して萬歳を唱へ旭日

◇衝天の勢を 示したので此報に接した活佛は直に蒙古隨一の猛將と聞へた陶什陶に命じて征伐させた托什托は自ら陶軍を邀擊して遂に陶什陶も一敗地に塗れ漸く身を以て脱れたので活佛は如何とも仕難く遂に彼等のなすが儘に委する事にした恰度托が大皇帝の

◇名乘を揚げ た日童顏白髮の一術士が漂然として現はれ托を見ても跪坐拜服せないので托は大に立腹し大皇帝の尊嚴を冐す者は殺せと怒鳴つた術士は少しも騷がず大帝暫く待て我は千里外に在て中空に王氣の氤氳たるを見て此所に來る今

◇大帝に親見 するに未だ王氣の帝容と符合せざるを怪しむ然らば太子に讓らしめよと臆面もなく滔々と述べたので托は直に生後纔に三四箇月の子息を見せると術士は一見遙かに飛退り頭を地に叩きつゝ眞に雲氣に現はれたる王者の相あり大帝子孫をして

◇帝王萬世の業 を圖らんとせば須らく一己の尊榮を犧牲として退位し太子をして速に帝位に上らしめば大事必ず成るべしと云ふや托什托は大に喜び目下太子冊立の準備中であると云ふ蒙古丈けに其の出來事も矢っ張り神秘的で面白い處がある(北京)

●富豪を訴ふ

本鄉區駒込林町松澤ろくは辯護士佐伯秉次郎氏を代理人として日本橋區本石町三丁目百萬圓の資產家なる鰻問屋松澤孫八氏を對手取り二十一日東京地方裁判所に家督相續權回復請求の訴訟を提起したり

●短銃で脅迫

去る二十日長春附屬地東七區質屋利占一方へ馬賊三名侵入して短銃を擬し家人を脅迫し官帑金銀貨三百圓許りを竊び逃走せり(長春)

●嫉妬から自殺を企つ

京城西大門町一丁目居大阪市西區九條南通り三丁目生の高瀨とみ(二七)は二十二日午後十一時頃居宅にて洗滌用藥リゾールを服用して苦悶中を發見され應急手當の上長谷川町安東醫院に入院し目下加療中なるが經過良好なりと同人は曾つて仁川及び龍山彌生遊廓にて娼妓稼業をなし本年一月中廢業したるものなるが其際抱主に七十圓許りの借財あり是れが辨濟の爲め太平通の某飲食店に酌婦奉公中廣島縣生れ黄金町一丁目居住池田某(三〇)と情を通じたるも池田はいそ(四〇)といふ妻ありて風波の絕えざるより六月中池田は妻を離別せるに然るに仲裁する人ありて近頃又も復緣する事となりたるより嫉妬の餘り右の無分別に及びたるものなりと

●中等學校構內の火事

廿三日午後十一時五十分頃京城壽松洞私立中等學校構內居住同校事務員某方居宅より發火したるより鍾路警察署員を始め常備消防隊出動して消防に努めたる結果朝鮮式温突建八間の內五間を全燒し殘り三間は半燒にて二十四日午前零時二十分頃鎭火したり同夜据洋燈を點火したる儘枕元に置き就寢したるに睡眠中の幼兒が手を伸ばし誤つて洋燈を轉倒したる爲め其の火が壁に掛けありし衣類に燃え移りて遂に大事に及びたるものにて損害は約四百五十圓の見込也と

●强盜

平壤府新倉里酒商金一善方へ七月二十一日午後十時頃三名の鮮人酒客の如く裝ひ入來り一名は房內に他の二名は房外に張番をなし兇器を擬し金一善を脅迫し現金七圓物品衣類收受せ價格十三圓六十錢餘りの物を强奪逃走せり

●新義州の大相撲

滿鮮巡業中なる東京大相撲西の海大錦の一行は來る二十八日新義州に乘込み二十九三十の兩日興行の筈にて場所は濱町と本町との境界なる多田商會前の廣場に決定し既に小屋掛準備に取掛りたり(新義州)

●平壤と氷

目下平壤に於ける在庫の飲料及び冷氷の現在を聞くに日鮮人を通じて約三十五萬貫內飲料氷は二十二萬貫位にして平均價格一貫四錢冷用氷一貫二錢宛なりと

●京城俳句會開催

京城に於ける俳句同好者主催となり本町五丁目[illegible]に於て[illegible]開催すべく會費は一人金二十錢[illegible]

●京城府內の巨樹珍木(二)
祈つて子を持つ大銀杏 祭らざれば祟る大槐樹

西大門通から北の方へ城壁の外側に付いて行くと巨大なる銀杏の老樹が立つて居る此の邊を杏樹洞と云ふのも此の大銀杏に因んで名付けられたのであらう、此の老樹は約五百年を經過したものであつて高さ十一間幹の周圍二十尺に餘る、昔時は

▽樹下の一小祠 に樹精を祀つて居つた、子の無い者は祈つて子を得、又此の祠を信仰して金儲をした者もあると傳へられ每年正月盛んなる祭典を行つたが其後何者か祠を取り去つた爲め今は祭が絕えて居るが迷信は別として

▽珍らしい巨樹 であつて充分保存の價値が有る又旭町一丁目白川小吉氏庭內の銀杏も年數四百餘年を經高さ五十尺大さ十一尺に達して居る文祿の役の際、或日朝鮮軍の哨兵が此の樹の高梢に登り頻りに日本の軍營を覗つて居る事を

▽發見した日本兵 が大いに叱して此の樹を斫らんとした處不思議にも幹から鮮血迸り出でたので日本兵も懼いて其の儘立去つたが爾來神木と稱せられて居る猶蓮池洞儆新學校內には一千年を經過した銀杏がある

▽主木は燒かれ て形骸が存してあるが其の側から萌いた芽が既に高さ九間太さ六尺に達して居るが此の巨樹は周圍一丈に餘つて居る此の樹は孝廟王の出生地と稱して樹前に孝廟潛邸の斷礎と碑閣と存し樹の後方に

▽小祠が祀つて ある。橋南洞十六林升圭方の庭內に有る槐樹は約四百年を經たもので高さ十三間周圍二十尺に達して居る樹の周圍には石垣を積み昔時祭典を執行したる痕跡あり、此の樹の附近に居住せんとする者は前以て

▽此の木精を祭 らざれば祟りを受くると言傳へてあつた、此の外巨大なる神木と稱せられたるものには三阪通厚岩里の櫟二本、花洞月谷及び杏亭の銀杏二本、同月谷の銀杏、桃花洞廣場治の香木二本及び鍾路六丁目の大槐樹等あり殊に此の槐樹は李朝太祖未だ京城に入らざる前より既に

▽巨大にして森 の如く繁茂し居たりと傳へらる此の他珍木巨樹として保存せらるゝものには安國洞別宮內、總督府醫院構內、蓮池洞ゲール氏邸內の銀杏、慶雲洞東京建物會社庭內、芳山町米乘駿子邸內

▽社稷洞社稷內 同洞朴召史方及び橋南洞百四十三番地平洞川沿地、貞洞ジー、アール、フラムトン氏庭內、南米倉町百十六番地旭町一丁目長瀨氏庭內、竹洞李夏榮男邸內松峴洞尹澤榮侯邸等の槐樹及び齋洞三十五番地、社稷洞

▽於義宮の白松 蛤洞二十七朝鮮松、尹澤榮侯邸カイヅカイブキ慶雲洞李培鎔子邸の香木二本、社稷洞社稷內の櫟、赤松等にして何れも二百年乃至五百年を經て高さ五間乃至十間太さ十尺より二十五尺に至るものにして眞に愛護の價値あるものばかりである(をはり)

●苗木で詐欺 [illegible]のなる[illegible]となりそのことたるも[illegible]郎は[illegible]の地所を名義變更を[illegible]

●連絡船上盜客 廿三日朝[illegible]

曇但少雨

演藝案內

大正館
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三
○七月十九日より特別大興行 ○米國トランスアトランチック會社傑作 ○世界的大冒險大活劇「ハート」の３ [illegible]

御成座
御成町 電話二一九一 一行
新派中村榮一 [illegible] 孝子不孝子兄殺し [illegible]

浪花館
明治町 電話二一六〇番 ◎東京落語三遊亭遊三一行 [illegible]

黃金館
天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 Mカシー商會朝鮮一手代理店 電話一八五二(階上) 二六三七(階下)
○七月二十日より提供特別大寫眞 ○新派喜劇靴の行衞 ○泰西軍事大活劇遊獲 ○新劇五郎正宗孝子傳 全五卷 [illegible]
○お斷り [illegible]

●夏物紺セル洋服
鐵道局拂下品
一等無キズ品 壹組 [illegible]圓五拾錢
二等品 壹組 [illegible]圓五拾錢
三等品以下 壹組 [illegible]圓五拾錢
其外雨合羽冬絨洋服 外套類
龍山元町二丁目
和服 洋服 商 金子奥市商店
二等以上小包料當店負擔 電話一〇五番

新築中と雖も營業はいたします
何卒御ヒーキに願ます
京城新町
汲月庵
おとく敬白

祝仁川支局發展
仁川敷島町遊廓組合員一同

定價 一個入 金十五錢 三個入 金四十五錢
大阪 藤澤 東京 [illegible] 京都 本舖
各地藥店小間物化粧品店雜貨店にあり
代理店 京城南大門通二丁目 新井藥房

川輕便鐵道
列車時間表
仁川發	前六、〇〇	九、〇五	後十二、〇五	二、四〇	
新安州著	前七、五五	十一、〇五	後二、〇〇	四、三四	
新安州發	前九、一〇	後十二、二〇	後二、四五	五、三〇	
仁川著	前十一、〇三	後二、一三	四、三七	七、二八	

攝津灘 大塚釀造所吟製
京城本町二丁目 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座[illegible]

三伏銷金之候處而御左右御伺申上候
努力致富之實無代進呈
大阪堂島米穀取引所 仲買人
會我一郎商店
電話北長(二二四八、二二五〇 二三九六、二二五六) 自宅 電話西の宮 一八二

かつけ 胃腸 心臟 病 特効 精糖
定價金五十錢●本舖大阪市安堂寺橋通二丁目佐藤ライト商會●精糖は全國各藥店に販賣せり●近時精糖と稱するにせ物有御買求の節は必ず店名御指命を乞ふ

銚子港 田中玄蕃釀造
ヒゲタ醬油
代理店 發賣元 櫻正宗 京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番

…居住支那人[illegible]の結果無罪の判決となりたるを立合檢事より京城覆審法院に控訴したる[illegible]代金を詐取し[illegible]賣買金名義にて[illegible]を以て其の代價として[illegible]に地所を告訴したり[illegible]

◉夏は涼しい 魚釣り趣味

□漢江の鯉清涼里の鰻□

□夏は涼しい釣魚の季節となつた、此頃は土曜から日曜にかけて漢江方面に出かける者が尠くない

□漢江では蠶島の東拓道前商橋附近の鯉釣りもよく投網は更に面白い

□清涼里の流れでは鰻の大きなのが面白いほど釣れる

□鰻釣りは漢江清涼里方面から京城に近き京元線、京義線、京釜線方面が盛んである

□殊に京釜線成歡驛附近の流れは由來鰻の名産地で京城あたりから專門の漁師も多數入り込むである

□また沙魚は仁川の海が好漁場で昨今一貫匁以上を釣つた人もあるといふ

□釣道具は南大門通りを始め市中到る處に賣つて居るが値段は竿から釣針まで一式揃つて二三十錢から五六十錢までが普通である

□投網はカタン糸、麻糸製で普通七八圓、絹糸で十四圓位である

鳳仙花

●婦人會慈善音樂會

（廿四日夜京城ホテルにて）京城教會婦人會主催の慈善音樂會は廿四日午後八時より京城ホテルに於て開會、例により青木兒氏の獨唱に次いで筑前琵琶、琴尺八等の演奏あり曲目次の如し

△湊の千鳥獨唱（青木兒氏）△琴尺八合奏熊野（北古賀順橘氏、村上夫人、岡田夫人）△筑前琵琶湖水渡（荒牧輝鳳氏）△獨唱何だつけ、めくら鬼（青木氏）△獨唱かへり路（青木氏）△琴尺八△英語獨唱アリア（青木氏）△琴尺八合奏都の春（北古賀氏、村上夫人、岡田夫人）△筑前琵琶川中島（荒牧氏）△獨唱犬と猫、かにとなまこ（青木氏）△俊寛（青木氏）

◉技藝女校修業式　私立京城女子技藝學校にては二十四日午前八時より第一學期修業式を擧行し校長井上要二先生より休業中の心得に就き一場の訓話ありたり

◉東京高商生入京　東京高等商業學校學生京鮮視察團一行五名は廿四日午前八時卅分南大門驛着の列車にて釜山より入京市中見學の上更に北行の筈

◉井上校長内地視察　南大門通私立女子技藝學校長井上要二先生は東京及び内地各地方の女學校視察の爲め來る二十六日南大門出發八月二十日頃歸京の筈

◉暑中休暇と生徒　平安南道各小學校及び普通學校に於ては夏季休暇中生徒を一週一度宛學校に招集し算術、作文、習字等の[illegible]を設け又體育奬勵の爲め遊泳をもなさしむべしと

◉割烹講習會　京城中小學校にては廿一日午前十時より同校補習科女生徒の割烹講習會を開催し校長以下職員一同を日本料理にて招待したるが成績良好なりと

◉愛婦委員依囑　土木局仁川出張所長水井松火郎氏夫人花子及び朝鮮銀行仁川支店長白鳥鶴治氏夫人知子の兩氏は頃日愛國婦人會仁川委員部より同部委員として依囑方を申請中の處今回許可ありたり

◉體育會女子部　東京麹町區飯田町日本體育會體操學校女子部にては今回高等科及び普通科の入學生を募集す同校は全國師範學校及び高等女學校教員の養成に努め高等科は高等女學校第三學年修了者、普通科は高等小學校卒業生を無試驗にて入學せしむる由

◉海雲臺と馬車　釜山附近の海水浴客の爲めに東萊溫泉場と海雲臺間の馬車は愈々去る十八日より開通せしが賃金は片道廿五錢往復五十錢にして發着時間は午前九時、正午、午後三時、同六時の四回なりと

婦人界消息

△關屋よし子（學務局長夫人）　先日來内地へ避暑

△有賀坊ちやん（殖銀頭取令息）　眼病の爲め御親父と共に東上岡本博士の診療を受けて居られます

△國分けい子（司法部長官令孃）　先日來腸チブスにて總督府病院へ入院中

神社と御寺と教會

○開教院（大和町）　廿四日午後二時より新入教徒あり

○西本願寺（若草町）　廿四日夜月例講話あり

―△會いろ〳〵▽―

□割烹研究會　私立女子技藝學校にては二十五日より本月末まで同校生徒卒業生並に家庭の希望者二十名の割烹研究會開催、講師は招集劉太郎氏にして毎日午後一時より同五時まで實地研究を試むべしと

□慈善音樂會　二十四日午後八時より府下の京城ホテルにて開催入場料一圓と五十錢と三十錢

□慈善音樂會　厚濱家青木兒氏出演の音樂會は二十五日午後七時より鐵路基督教青年會にて開催

□青木氏講演會　二十三日長谷川町日本基督教會にて開催、專ら教會音樂に就き約二時間に亘る講演ありたり

圖紅い旗（夏は氷屋さんの天下）

□日本最初の氷屋の恩人はヘボン宣教師□

◇街のそこ〳〵に紅い氷屋の旗が出て京城の夏の情趣はいよ〳〵深くなつて來たがさて連日の雨つゞきで今年は氷屋さんは大こぼし

◇尤も氷屋一年の決戰期は一に盛夏八月の月一ぱいにあるので其の前の七月の天候如何は左程悲觀するにも及ばぬことだがそれでも雨よりは炎天であつて欲しい

◇昨今一日の中で最もよく賣れるのはお晝の三四時頃から夜の八九時十一時、卸店から小賣店に配達するのは朝の八時頃と夕方の八時頃である

◇何分今年は漢江に結氷を見ず天然氷は多く國境義州方面から鴨綠江氷が運ばれてあつて多くは龍山製氷會社の人造氷の天下である

◇御相場は昨今一貫匁につき八錢位ゐ、氷屋さんは何れも暑い盛夏を待ち焦れて居る

◇お話のついでに氷屋の元祖なるものを詮議立てして見ると日本では彼の辭典で有名なる横濱の宣教師ヘボンさんである

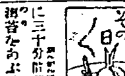
◇『ヘボンさんでも草津の湯でも……』はちと緣が遠いが維新當時日本の學術上に貢献したヘボンさんが氷屋の恩人たることは至極面白いことである

◇それは明治二年の頃で、あつたヘボンさんは横濱の中川嘉平氏といふ人と用向きを帶びて函館に行つたことがある

◇其の頃の函館は今と違つて人煙稀薄な原野であつた其處には結氷した一つの沼があつた

◇其處でヘボン氏は此の氷を切り出して東京へ賣り出したならば尠なからぬ利益があることを中川氏に勸め且つ夏季の保存法までも懇ろに敎へたのであつた

◇併し西洋では氷は單に肉野菜等の冷藏用として使ふのでヘボン氏もその積りで勸めたのだが中川氏はそれを靖國神社の大祭に搬ぎ出して大に儲けたものであつた



だいどころ　その日く

回みつばかかしわさび　三つばの根をとりて流中をびて洗ひ煮たちたる湯に入れてゆで水にとりてかるくしぼり絹だし半分と醤油半分との中に三十分前程つけて置きキユツとしぼりて適宜の長さに切りて二つに切りて皿の上に置き其上に三つばをのせて卸しわさびを少し眞中に入れ海苔をあぶりてもみてかけ[illegible]にきり小井に盛る大きさはすしの[illegible]位にてよし（青木はつ子）

番茶のあと

這回釜山藥業會で選むだ釜山土産の名産品無記名投票では次の七點が入選した△日く丸政の鯛味噌、山口の蒲鉾、和屋のカステラ、大和屋の栗饅頭、山崎の人參濱、橋本の名所煎餅、小林のエハガキ等△鯛デンブと生蛤も此の中に入れたいやうに思ふ

宮本武藏

第百九回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

其翌年が豊前の小倉から肥後の熊本へお國換になつて十七萬石が俄かに五十四萬石に相成つて熊本へお乘込みになりました、其年は御在國で其の翌年の暮、殿様が『殿、當年も予が自身に門松を求め家例にいたす、昨年參つた三太郎と申す者を尋ねるやうに』と殿様から御沙汰になりました、早速に細川の家來が兩名八王子へ乘込んで參りました、細川家は武辨堅固の御家でございますから、立派な御家來がある、偖て八王子の問屋場へ參りまして○『エ、此方は細川越中守家來であるが、少々尋ねたい事がある、當八王子に三太郎と申す者が之ある筈ぢや、早々是へ呼んで貰ひたい』宿役人が見ると立派やかなるお武家でございますから宿『ヘエ、三太郎と申しまする者は此の宿に二人ございます、何の三太郎でございますか』○『ハア兩人ある』宿『ヘエ、飲三に愚圖三と申します』○『ハア其は何ういふ譯だ』宿『ヘエ一人は恐ろしい酒好でございまして始終酒氣の放れた事がございませんから飲んだくれの三太郎、飲三〳〵と斯様申します、又一人は愚圖〳〵いたして居りますから愚圖三其の飲三愚圖三の兩人でございます、何方の三太郎でございますか』○『ア、然らば其の飲三と申すのに遇ひたい、大分酒好の男である』宿『ア、さうでありますか、只今是へ呼んで參ります』と直ぐに宿の者に吩咐三太郎の所へやりました、宿の者は飛んで參りまして使『三太郎さん』三『ハイ』使『問屋場まで直ぐに來さつせね、今細川様の御家來が二人ござつて三太郎を引張つて來いといふのだ』三『ナニ』使『細川の御家來が……何だか知らねエが手に唾を附けてな、刀の鯉口を切つて何でもお前等を切つて終うといふ權幕だ』三『ウム、其れアどうも大變なこつだ、居ねえといつて斷はつてくれりやア宜いのに』使『其は往かねえ、兎に角行つて見さつせエ、危なくなつたら問屋場の旦那が斷まつて呉れべエから行かしやるが宜い』三『俺がマア叱られるやうな事はねエ筈だが、マア何しろ行つて見べエ』と怖々ながらやつて參りましたが、來て見ると立派な武士が二人○『其方が三太郎と申すか』三『ヘエ私が三太郎で、お酒を頂くとツヒ飛んだ事を申しますが、酒の上で言つた事でございますから、何んな事を申上げましたかハア一向に覺えもございません、何うか御勘辨を願ひたう存じます』○『イヤ我々共は細川越中守殿家來である、一昨年十二月二十五日其方が門松を馬の背に附け、御門前を通行いたした時、其方が持つて參つた門松を此方に於て求め遣はし、僅か一貫三百文で貴様が持つて參つた其松を殘らず買取つて遣はした』三『那れは其の何んでございます、全體些つとんべエ高かつたんだが、値切るだらうと思つて一貫三百といつたんで、お前さんの方で値切られるもんだから何でございます一貫三百頂いたが、値切らねいのにお前さん方の不調法でげすからね……』○『コレ〳〵何んだ、値切るの値切らないのと、何も値段の處はトンと構はない、其方が那の節俺れが持て參つた松を立てると來年は貧乏細川が屬細川に相成つて二百萬石になると斯様申した、然るに昨年に肥後國熊本へ御國替に相成つて、其方の申した通り五十四萬石殊の外御大身に相成つた其吉例として以來門松は其方に納めさせろ、早々持參いたすやう、其を申し附ける爲め態々我々が出役をいたしたのだ』三『ヘエ、何かね俺の松を立つて十七萬石から五十四萬石におなりなすつた、何うだ俺がいはねへ事ぢやアね、正直の三太郎、嘘を吐かねえ三太郎俺れが持つて行つた松を立てれば二百萬石になるといつたが違ゑあるめえ、貧乏細川が屬細川になつた、什麼だい、憚りながら三太郎のいふ事は此の通りだ』と三太郎め大變威張り出した○『然らば當年も持參いたすやうに』三『承知した、今年はマア宜い松を持つて行きますから旦那樣に宜くさういつて置いて呉んなせエ』○『然らば三太郎、早く持つて參れ』と役人は其儘に立歸りました。

日本一　宮内省御用　マルカン印　最上清酢　電話二四五番　日本醤油株式會社　京城出張所　京城太平通二丁目

七月二十六日九星　舊六月廿七日甲子　木曜三碧　東　取　友引

▲三碧●大將少　起ろ日踊て新寄い合　坤の方は吉[illegible]▲四緑●[illegible]の日　轉居入學[illegible]萬吉▲五黄●[illegible]とすろ事有日　新事手控へ[illegible]は吉行[illegible]を守らるべし▲六白●ぐればまの事有日　新事手控へ事は[illegible]外れの事有日　一切のせわ事を禁ず▲七赤●[illegible]一切のかけ事を禁ず▲八白●新事手控へ事は吉[illegible]新事手控へ事は吉[illegible]を生ぜんとす[illegible]貸借の口入等せぬがよし▲九紫●[illegible]の日[illegible]求職[illegible]の和を計る[illegible]▲一白●[illegible]轉居[illegible]▲二黒●[illegible]大に慎ふべきの日也[illegible]新事手控へ事は[illegible]のせわな爲すあれ

商況

東京株式特電　二十四日　前場寄付　大引　[illegible]

債券現物特電　[illegible]

公債直取引　二十四日出來値段（前日との比較）[illegible]

深川在米特電　[illegible]

東京期米特電　[illegible]

大阪株式特電　[illegible]

大阪期米特電　[illegible]

下關期米特電　[illegible]

雜報　[illegible]

●牛皮市價の低落　牛皮は過般來人氣の冴えざる裡にも依然高値を維持し大阪よりも[illegible]支那皮は突然四五圓方の暴落を演じたるより[illegible]七十四五圓を[illegible]更に延期說[illegible]成行き傍觀すべきなり

●雜鑛は不振　[illegible]

◉麥粉は稍見直す　[illegible]多少の引戻し[illegible]

◉空瓶は區々　[illegible]漸落[illegible]一錢八厘[illegible]

◉新小麥小甘し　稍々相場小弛み[illegible]

下關相場　[illegible]

京城正米　[illegible]五錢方引締め　更に十錢乃至十[illegible]　南大門の廻穀[illegible]

仁川現物市場　[illegible]

釜山市場　[illegible]

利　仲買店　仁川米豆取引所仲買人　[illegible]

生魚市場　[illegible]

仁川期米　二十四日前場　一昨止より七[illegible]錢安の入電　四節四十錢丁度と高移り　買物多く忽ち三十二錢と上伸　大阪九節四十八錢　尚ほ高移　喰賣の續出し利[illegible]

市場雜聞　依然強硬[illegible]物多く現出し一方利[illegible]喰賣多く混戰[illegible]前場の手振[illegible]

三邑仲買店　[illegible]

▲形勢一變[illegible]▲正米漸騰　市況は將に一變[illegible]

當月渡米[illegible]人氣は益好調[illegible]先大在荷[illegible]稀薄の訴[illegible]

▲強弱の見解[illegible]正米界は反動安[illegible]此儘需用の終[illegible]今後の正米界は賣物稀薄の爲め昂騰[illegible]

▲天候不良[illegible]

仁川米豆取引所

二十四日の九月限

前場	
寄付	十二圓二十七錢
止め	十二圓三十一錢
高値	十二圓三十二錢
安値	十二圓二十七錢
出來高	一萬八千五百石

平均値段	
一節	十二圓三十錢
二節	十二圓二十九錢
三節	十二圓二十八錢
四節	十二圓二十八錢
五節	十二圓三十錢

賣買取組高

七月限	五萬五百五十石
八月限	[illegible]
九月限	[illegible]

小賣白米　現金賣　一等白米　十五錢　十四錢五厘

北濱だより　▲商内は殷盛[illegible]

ライオン齒磨

日本全國の齒科醫諸君を始め、斯道專門家各位が心から賞讃してゐられるライオン齒磨を朝夕食後に使ふのは、一番安全な齒の養生法でございます。

即ちライオン齒磨は防腐、殺菌、收斂、清掃の偉力で齲齒を絕對に豫防致します。

(587—5)

世界名花の精を集めた

ツバメ香水

清新な匂は一滴で永く保つ
今や上流社會大好評の流行品

國產奬勵と朝鮮牛

▲見落す勿れ畜產業界▼

朝鮮牛の特徴

▲性質温順にして勞力粗食に耐へ寒暑三伏の候と雖も原野に臥するも疲勞病症に侵さるゝ事なし

▲爪の堅牢なるは岩石を削るが如き堅固無比なるが故に數十里の山路石道にてもクツを穿たしむる必用なし

▲近來朝鮮牛の佳良なるは諸點の完備せるに依る之れ農家畜產界の一大福音として賞讃せらるゝに依る

▲輸送は朝鮮及び日本內地に於ける鐵道運賃の特約と關釜聯絡に於ける輸送は汽船により迅速確實を以てせり

▲農業家畜產界の諸彥益々御引立あらん事を奉願上候

活牛移出問屋 上杉吉太郎商店
釜山鎭驛前 電話一〇三七番

ベップサイダー
ブドウサイダー
キリン印ラムネ
發賣元 平壤泉町 梶原商會支店

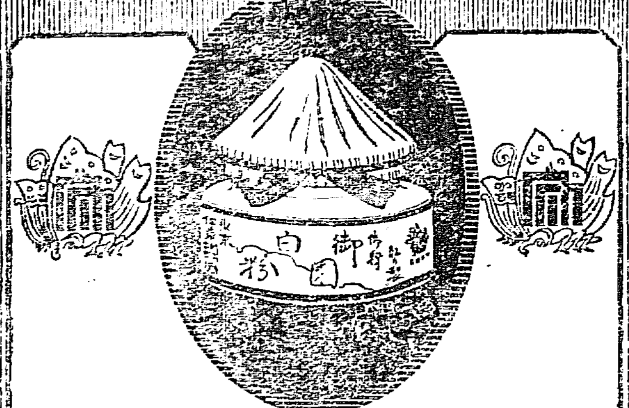
質

京城黃金町二丁目(永樂町派出所北入)
堀佐營業所 (電話六一九番)

七日ツケタラ鏡をどらん色白くなるグンソ液

小壜二十錢 四十錢

今東京で大評判の白美の元素色黑き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカく根本的に色白く眞の美人美男子とする
全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す 東京和泉橋際グンソ液本舖 松本樹店



色を白く美くする 御園白粉

御園白粉を長くお用ひ遊ばせば知らず〲の間に見違へる程生地の色が白くなります。

生地の色が白くなりますから自然とお顏の色艶が增し皮膚が活潑と美くしく、眞から若々しい色白の美人となります。

(136)

御園白粉

本舖 伊東胡蝶園
發賣元 丸見屋商店

安住かとり線香

世界各國に輸出し好評嘖々たり
各大博覽會金牌受領

今年の避暑は? 溫泉? 海邊? 何處にしても此蚊取線香を御持參遊ばせ

到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す

大阪北區曾日町 安住大藥房

齒科診療

仁川山手町穴門通
東京齒科醫學士 飯塚喜四郎
電話三五〇番

京城日報

廿五日朝刊（夕刊と合せて八頁）

歐洲戰と北米合衆國（三）

日米將來の經濟的關係

勝田鮮銀總裁講演
經濟研究會に於ける

三、消極的政策

▽**歸納的政策** 保護政策か自由政策かの問に對して大統領の答ふには『それは御尤な話である。私も實は經濟學の本でさういふ事を學んだことがあるが、書物には保護政策だの自由貿易主義だの云ふことが書いてあつた、夫れは私も能く知つて居る。併し私はさう云ふ事には一向趣味を有たなかつた。保護政策だの自由政策だのと云ふけれども、要するに事實を押へて、其の事實から歸納したものが一番よい政策である。其の事實から歸納したものが、或は自由貿易主義となり、或は保護貿易主義となるので、事實を離れ實際[illegible]物から私は何主義など云ふことは實際[illegible]語もなかつた話であつて、事實から[illegible]ふ、其所が妙味の存する所であると思ふ』と言ふて居る。一面から云へば此の答は政治家の所謂曖昧模糊の答で、一時を糊塗した感があるが、私共から見れば、苟くも一國の經濟財政を司配し、之が調理を圖る位地に在る人には、此の頭がなくてはならぬと思ふ。日本の現況に於ては、或る內閣は非募債主義であるの、或る內閣は募債主義であるの、或る大藏大臣は募債主義と云ひ或る大藏大臣は非募債主義と云ふ樣なことを言ふが、一體さういふ事は有るべきでないと思ふ。ウヰルソン大統領ならば、そんなことは言ふまい。其の當時の事實から割り出さねばならぬと云ふのは面白いところである。然るに漫然募債主義だの、非募債主義だのと標榜するから問題がむづかしくなり、國家の爲めに最良の力を盡さねばならぬ場合に往々行詰まる。ウヰルソンなどは學者ではあるが中々わかつて居る。西洋の學者は閑に置けない要領を得て居るといふ事を茲にお話して置くのである

▽**勤儉貯蓄の勵行** 其から消極的の事柄としては、古今東西同一轍で、勤儉貯蓄をやらねばならぬと云ふのである。之は日本でも屢々言ふけれども合衆國でも此の事は政府當局は勿論、民間でもやかましく言ふて居る。戰後合衆國に如何なる[illegible]が起るかわからない。資本の如きも欠乏するかも知れない。或は又此の溜まつた資本を外國に投資する事に係らなければならぬかも知れない。色々積極的にも消極的にも考へて見れば前途甚だ憂ふべき點もあり、考慮を要する點もあるといふので、勤儉貯蓄は今や上下に唱道されて居る。經濟關係の問題としては先づ今申した樣な點であるが、其の消極的方面から言へば經濟關係を離れては戰爭を無くする方法を講じなければならぬと主張する者もある。之は將來に合衆國一流の考へであるが、斯樣なものは姿に[illegible]へぬ方がよからうと思ふ。私の研究した所によると、關稅政策の問題と勤儉貯蓄の問題とが消極的政策として合衆國が採り、又は採らむとして居る事柄らしい。

大阪より

△**枝光の門戶開放** 從來超然主義を採れる枝光製鐵所は世界の大勢に順應して其の製品を政府事業にのみ供する例を破りて出來得る限り民間の需要に適應すべき門戶開放主義を實施する事となれり即ち第一回拂下に於て三井大倉安田岸本森岡等各取扱店の手を經て七千噸を民間に供給し來る八月上旬第二回の拂下を行ふべしと云ふ斯くの如く次第に超然主義を捨て官民融和の實を擧げ行くは實に慶すべき事なると共に大いに獎勵すべき事なり本邦各都市を通じ右民間製鐵所を擧ぐれば大阪の大阪製鐵所（年產額一萬五千噸）神戶の神戶製鋼所（年產額一萬二千噸）東京の東京鋼管會社（年產額一萬二千噸）東京スプリング（年產額一萬二千噸）仙臺釜石の田中鑛山（年產額三萬噸）合計八萬一噸に達するも未だ工事中のものあれば實際の現下に於ける年產額は僅々五萬噸位に過ぎず本邦一箇年の消費額百五十萬噸の多きに達し居れるも民間製鐵高が漸く目下工事中のものを合して八萬噸餘にして製鐵高は二十五萬噸と許せられ合して現時三十萬噸に過ぎず同製鐵所にては五箇年計劃を立て年額三十五萬噸の製產能力のものたらしめんとて其の步武を進め居れるが何日か輸入を防遏するに足らずして依然鐵輸入國たる點に何等變化なく輸入國にして尚其の輸入額の減少を見る際にても本邦製品保護策を政府に於て講ずるの必要あると同時に枝光製鐵所の今回取りし門戶開放策は大に歡迎すべき事に屬す然し未だ或る一部の用途に向ける方面に重きを置きて一般的に開放さるゝに至らざるは遺憾とする處本月二十三日同部[illegible]斷氏は大阪府下鑛[illegible]商同業組合員百五十名の委托を受け大久保知事に會議所會頭の聲援を得て枝光製鐵所に向け出發同所長押川氏に會見を求めて一般的開放の義を具陳する由なるが同所としても官府部の開放に非らずして全體的開放を見ば民間に同じ好影響を齎すにしても普遍的となり以上の効果あるべきを信ず（大阪支局）

城壁文學

小田省吾

（第七）肅宗期及び其の以後の都城修築

附 北漢山城

三、肅宗期都城修築と城壁文字

第二例（御營廳、肅宗三十一年、三十三年）

a 康熙四十四年九月日三牌將御營廳 哨官白之文、石手邊首禹碩（康熙四十四年は肅宗三十一年）

b 牌將御營哨官白之文、運石將軍官金世昌、石手都邊首崔一莫、康熙四十六[年]四月日（康熙四十六年は肅宗三十三年）

前者は光熙門と火葬場との間に在り後者は肅靖門の北側にあるから南北非常に箇所を異にし又年次をも別にして居るが、御營廳の哨官白之文なる同一人により指揮されて出來たものであることが知れるのは面白いではないか。又之によりて一營が必ずしも同一方面にのみ働いたのでないことも知れるではないか。哨官、軍官は共に大典會通にも見ゆる武人の官名である

第三例（禁衛營、肅宗三十五年、三十六年）

a 都廳監官趙延元、吳澤、尹商厚 邊首安重里、巳丑八月日（巳丑は肅宗三十五年）

b 禁都廳監官李秀枝、吳有俊、石手邊首安重里、庚寅三月（庚寅は肅宗三十六年）

是は何れも南山頂背後より南小門址に至る間に在る。禁都廳は禁衛營の都廳のことであると思ふ。此點に就ては[illegible]

あるのは、工事の區域を大きく設けずして[illegible]か。又此點に限り、干支を用ひて居るのも何年とさせず何れも石手頭役安重里の手に成つたことも解かる。此邊の都城の區域は官趙延元、石手安重里の名は北小門と南山頂との間に二箇所も見ねて居て、其の所の都城の區域は續けて居るが、此の八名によつて同一區域に築かれたことが知れる。

以上の例で解かる如く、肅宗期の築を刻記した文字には必ず築門の名が見ねて居るに拘らず、前々節で話した肅宗以前に於て話す肅宗以後の修築には年次は明にあるが軍門の名がない、是れ實に肅宗期には左樣に門に命じてなさしめた事を判然ならしむるものである。然るに余は不幸にして五軍門の中、守禦廳と摠戎廳の名を京城都城の周圍に見出すことが出來ぬ。西大門址の北側から京城中學校の背後に至る間に、年次は明に肅宗の三十三年及び三十五年で定帑は右の解からぬものゝ二箇所あるが是等門名は若し風化の爲め湮滅したのであつて、此外に官職人名等一部分より讀めぬものも少くない。余は篤志の人々が倘一層肅宗朝城壁を検査して二軍門の名を見出されんことを切に望むのである。（此項完）

京日詩壇

次韻寄牟田火洲先生　東萊　金嘉鎭
蒼浪知夢獨長嘯、別後拓思歲月賒、魚素驚京情到誼、闌幹獨澀筆頭花。
香園曰、懷抱鳳格俱高、新聲而見古意、

夜歸　應村　牟田口元學
一天風露灑吟衣、隔水樓臺燭影微、十里坂塘多月色、萬荷香裡夜深歸。
香園曰、凄凉婉約、與方岳夏夜詩競爽、

函館雜詩　河南　朝比奈知泉
肩輿衝雨度嶙峋、近樹遙巒看不眞、面滿雲開又關、恍然似失意中人。
香園曰、一片神行、咸句流暢、中見許多寄慨、

寄前駐日公使金嘉鎭貴君在朝鮮　火洲　牟田豐
世態變遷君勿嗟、骨平恩澤媢來[illegible]、東風香雪吹吟袂、春王鷄林八道花。
香園曰、閒二十五年前東農金貴爵書日光訪謝詩贈火洲翁、翁裝潢珍藏之、貴爵讀此篇、應想其舊知之情、逾一笑受之、詩與至情足動人

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金五拾錢 [illegible]
廣告料 ▲五號活字一行金壹圓 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 [illegible]

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百參拾五萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目（振替貯金京城一二番）
頭取 男爵 澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

朝鮮總督府技師 理學士 川崎繁太郎氏著述
京城通信記者 町田長作編
朝鮮之金鑛
四六判 總クロース 金文字 二百五十頁
印刷實費金壹圓 地方送料六錢
[illegible]
發賣元 京城[illegible]町 黄金印刷所
發行所 大阪屋號書店

歐洲戰爭實記第二十二增刊
世界大戰寫眞畫報

書報 讀物
歩兵アルプスの伊軍　砲兵隊（三色版）
ウエルダン附近の健闘（二色版）
陰慘たる野戰病院の夜（二色版）
アカデミー戰書
其他最近蒐集寫眞四十頁
自由の歐羅巴は何の爲に戰ふか
伊國軍師カドルナ
大規模なる露國の窮民保護
驚くべき外科大手術
フオツカー式飛行機恐るゝに足らず
英海軍の首腦ジヤクソン提督
七月十五日發行 定價金廿八錢
東京本町 博文館

日韓書房 新版報告
池邊義象編 校定 源氏物語 定價 [illegible]
日野節齋著 禮法かゞみ 定價 [illegible]
西田顯一著 誰にも出來る 電氣工學 定價 [illegible]
幸田露伴 尾崎紅葉 共著 西鶴文粹 定價 [illegible]
瓜生康一著 實地應用 鐵筋コンクリート工學 定價 [illegible]
京城本町二丁目 電話一四五・二二七番 振替口座一一五番

弊店儀今般紐育スタンダードペイント會社の推奬に依り朝鮮總代理店の契約仕候に就てはラバロイドルーフインクの販賣は勿論同品應用諸工事一切遺漏なく施行仕る可き準備相整へ誠實に貴需に應ず可く候間何卒不相變御引立の程奉願上候
追而定價表及び見本御入用の節は御一報被下度送呈可仕候

最良毛製屋根葺材料
ラバロイド
朝鮮總代理店
釘本藤次郎本店
京城本町二丁目五八
電話 二七七・四五四番
振替貯金二五六番

八月一日より五日間
日本で初ての
富士山頂に於る
破天荒のクラブ歯磨デー
五日間御登山の方五千名迄
合計數百圓の紀念品贈呈
八月一日より五日迄の內、御殿場口、吉田口及び大宮口より御登山の方五千名迄、各登山口のクラブ歯磨本店臨時出張所に於て富士登山紀念抽籤券を一枚宛差上ますから、夫を頂上の淺間神社前クラブ歯磨本店臨時出張所へ御示し下されば抽籤に左記の紀念品を進呈致します。
登山紀念品進呈
一等 金側懷中時計……一箇（一名）
二等 銀側懷中時計……一箇宛（三名）
三等 目覺時計……一箇宛（六名）
四等 浴衣地……一反宛（十名）
外に クラブ歯磨 一箇と富士登山記念繪端書一組宛右各等に添附 進呈
五等 クラブ歯磨一箇 クラブ白粉一箇 登山紀念繪端書一組宛……（百名）
六等 クラブ歯磨一箇 登山記念繪端書一組宛……（千五百名）
等外 富士登山記念繪端書……一組宛（三千名）
靈山の巓に立つて東海の旭日を拜す眞に天下の壯快事
クラブ本店は一昨年來毎年富士登山隊を送り尚ほ登山道の各石室并に頂上の金明水及び銀明水にはクラブ水歯磨海拔標準寒暖計等を備付けて登山者各位の御便宜を計れり
日本名物 クラブ白粉 クラブ香油 クラブ洗粉
本店主催

東京米價 東京株式 大阪株式 期米 [illegible]
▲中限活況 [illegible]
●天氣豫報追報 晴一時曇

○他に何人を求む可き乎
今日の處黎總統の德望に若かず

二十四日歸朝せる日置公使は現下の支那政局に就き語つて曰く世に黎總統の政治的手腕を疑ふ者あるが如きも他に何人を求むべきか岑春煊、徐世昌、馮國璋と數へ來るも共に今日の時局を立ろに收拾し得べしとは思はれず寧ろ黎總統の德望に若かざるが如し第一革命の殊勳孫、黃兩氏に對しては時代は最早兩氏の言論に重きを措かず近回の時局は蔡鍔一派の雲貴人中心となりて排袁の氣勢を擧げ袁氏に慊焉たらざる者所在之に應じたる結果にて今更何人が如何なる態度を執るも直接時局の收拾に何等影響を與へざるべし現在段內閣は所謂南方派を加へて聯立內閣に存るも約法に據れば國會の承認を經ざるべからず段內閣承認に就ては既に政府派と反政府派の暗闘開始されつゝある事實あり唐紹儀氏の入閣拒絶は後繼內閣の總理たらんとする野心ありと見做され居れるが要するに政局の如何に展開するやは國會開會後に非ざれば逆睹し難しと(東京特電)

○當初の運動を繼續
政友會幹部會議の內容

政友會は既報の如く二十三日午前十時より芝三緣亭に於て緊急幹部會を開きたるが會議は階上の奥まりたる一室に於て行はれたり會議室は固く扉を鎖し午後一時過迄凝議密議し其れより食事に移り雜談を交はし同三時散會せり會議の內容に就ては絶對に秘密に附せられ居るも聞く所に依れば過般相州腰越に於ける原總裁別邸に於る會見以來各幹部が各方面に奔走したる經過を報告し更に總裁より元老、樞府、貴族院方面に於る意嚮を述べ最近某有力者側との交渉に係る重要事項に關し諮る所ありたるも事黨の運命に關はる重大問題なれば遽に決せらるべくもあらず、されど西園寺侯擁立は黨員多數の熱望にして幹部も亦今日迄此の目的の下に活動し來れるを以て今日俄然當初の計畫を翻すの事能はざれば其れに依つて運動を進むべきも遂行困難なるに至らば最後の態度を決すべく大體の意見纏まりたるが如し(東京特電)

○露國外相の辭任

露都來電に曰く露國外相サゾノフ氏辭任し首相マチュルメル氏兼任することゝなりたり(倫敦電報)

○ヘーグ將軍の揚言

巴里來電に曰くヘイグ將軍は一新聞記者との會見に於て昂然として語つて曰く最も重要視すべき勝敗の分岐點は西方戰場にあり吾人は如何にもして吾人の努力に相應すべき平和を締結せざるべからず吾人は今日迄其れが爲めに戰へり而して必ず目的を達するに至るべしと(倫敦電報)

○砲火を冒して突破す

露都公報に曰く露軍はスチール「リパ兩河間に於て三千名の捕虜を獲たりサハロク將軍はリパ河流域の沼地を横斷するに方り集中砲火の標準となりたるも首尾好く河を渡りて敵を擊破し捕虜千を獲外に數門の大砲を鹵獲せり(倫敦電報)

○總督山公訪問

箱根宮ノ下富士屋ホテルに滯在中の寺內總督は二十三日午前十時三十分自動車を驅つて小田原古稀庵に山縣元帥を訪問し晝餐を共にし午後二時旅館に引き返したり(東京特電)

○支那公使入京

新任駐日支那公使章宗祥氏は家族隨員と共に二十四日午後一時五十分東京驛著列車にて著京官民有志百餘名の出迎を受け永田町の公使館に入れり(東京特電)

○日置公使歸朝

十六日北京を出發したる日置公使は家族同伴二十四日午前八時四十分東京驛著列車にて入京せり(東京特電)

○ゲーリ氏來朝
造船、船渠事業創設か

二十四日横濱に入港せるエム、インデアン號にて有名なる米國鋼鐵會社社長ゲーリ氏來朝直ちに入京せり氏は米國實業界に於ける大立者にして政治的勢力も亦却々に侮るべからず來朝の目的は東洋方面に於ける新販路の開拓にて場合に依りては日米合同の造船事業及び船渠事業を創設するやも知れず我が實業界にては多大の興味を以て迎へつゝあり(特電)

○上院補缺當選

青森縣多額納稅議員宇野清左衞門氏の補缺選擧は二十四日執行開票の結果原田佐次郎氏最高點にて當選せり(東京特電)

◉酒稅令と所得稅
財政獨立計畫に伴ふ課稅の一段落
所得稅法の適用は資金の流入を助長せん
荒井度支部長官談

□酒稅令

當局久しき問題たりし朝鮮酒稅令は二十五日の官報を以て發布、九月一日より施行の事となり、內地の所得稅法中法人の所得稅に關する規定を朝鮮に適用するの件は勅令第百八十三號を以て公布せられ八月一日より實施の事に決せり

▲財政獨立計畫 に於ては將來出來得る限り課稅の多樣に亙らざる方針の下に土地、市街地、酒及び煙草の四種を限りて賦稅することゝなせるは世人の熟知する處にして這は既定の事實に過ぎず、本來も大正四年度より施行せむ意志なりしも大正三年には地租の增徴と共に市街地稅令を施行し又た七月には煙草稅の實施を見たる等課稅相次げるを以て當局に於ては其の情狀を斟酌し時機を俟つて今回漸く公布したる次第なり、而して

▲其の稅率 は朝鮮酒一石七十錢にして從來の平均二十錢なりしに比すれば一見高率の如くなるも、在來の稅率は所謂間接稅に止り、人民をして租稅に馴れさしめむが爲めに外ならざりしが故に之れと對照す可きにあらざるは論ずる迄もなく、又た淸酒の稅率は一石五圓にして內地の一石二十圓を賦するに比せば著しく安價なりといふ可く、且つ輸移酒に對しても之れと同一の消費稅を附して以て其の課稅の均衡を保持せむことを期せり、要するに本令は內地の稅法に接近せんとするものにして其の方法も亦た範を

▲內地の消稅法 に採れり、元來酒類の如きは贅澤品なるが故に課稅の目的としては極めて恰好のものなるも朝鮮の現狀は民度低く生活簡單なるのみならず、其の酒價亦極めて安價なれば之れに對して同一の稅率を課するは素より不當なり、之れ今回の稅令が內鮮酒に著しき相違を附せる所以にして、煙草稅に於て一般鮮人の喫用す可き刻煙が依然[illegible]を酌せるが爲めなり

□所得稅

▲所得稅の適用 は法人に限り個人は與らず、是れ朝鮮の現狀は未だ一般個人の所得に對して課稅する程度に至らざるが故なり、扨て朝鮮の法人――諸會社に在りては其株主は主として內地の人士に依りて占めらる、然るに內地に於ては法人に對して所得稅を課せるを以て之れに依りて得たる各自の所得には課稅せざるも、朝鮮に在りては從來此の稅法なかりし爲め其の配當に對しては更に內地に於て個人の所得として課稅せらる、從つて其稅額比較的高率なるより內地人

▲資本家の不便 甚だしく東拓大株主の如きは嘗て朝鮮に法人の所得稅法を設け相當の稅率を賦せんことを希望し、臺灣に於ても現に法人の所得稅法を適用して以て此の不便を免れ居れり、之れ素より至當の處置と謂ふ可く鮮內に於て得たる利益はまた鮮內に於て其の一部を徴收す可きものなるが故に、當局に於ては過般來中央政府と交渉の結果遂に勅裁を仰ぎて今回公布を見たる次第にして、之れが實施の曉には鮮內の株主に取りては多少不利の點を免れざる可きも、內地資本家に對しては極めて便利の方法たる可く、延いて資金の流入に貢献する處蓋し鮮少ならざる可し

◉未曾有の遊金
各銀行に一千四百萬圓

朝鮮の金融が從來緩漫の大勢にある事は屢報の如きが當局調査六月中に於ける鮮內各銀行の金銀出入高は左表の如し

行名	入金高	出金高
朝鮮銀行	[illegible]	[illegible]
農工銀行	[illegible]	[illegible]
普通銀行	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

乃ち六月中に十六萬七千圓の入金超過となり居れるが之れに前月より繰越しの分を加へ六月末現在各銀行の手許有高を出せば左表の如し

銀行名	現金有高	銀行間預金
朝鮮銀行	[illegible]	[illegible]
農工銀行	[illegible]	[illegible]
普通銀行	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

結局各銀行現金有高と銀行間預金の積は遊金と見得るに付合計一千三百八十萬圓の巨額を算し未曾有の多額を示し居れり尤も銀行間預金は多少前掲の表に重複せるものあり全部を遊金と見るは稍妥當を缺けど其の分は總額より觀れば必ずしも多からずと云ひ得べく單に銀行手許有高の增加を示す月末に比するも四十萬圓の增加を示し居れり殊に各農工銀行の手許及び他行への預金が合計二百五十七萬圓の巨額を算し居る如き事實は各農銀の有する預金及び資本金並に農債發行高等より見て注目すべき現象なりと云ひ得べく如何に地方に於ける經濟界が米安等の爲め一般の購買力を減じて不振の狀態にあり資金需要の途少く金融緩漫を極め居るかを知り得べし

◉鐵道運輸成績
七月中旬に於ける

七月中旬に於ける朝鮮鐵道局運輸成績左の如し

	本月成績	前月對比增加
乘車人員	一〇〇、二二七人	二、七〇九人
小手荷物	三八〇、七三二斤	八三、二九二斤
貨物噸數	三五、一〇五噸	七、三五五噸
客車收入	九六、六三七圓	一四、九九〇圓
貨車收入	九七、八〇五圓	一二、五〇四圓
運輸收入	一九四、四四二圓	二七、四五四圓
一日一哩平均	一三四二錢	一四五二錢

◉家庭工業審査
京城商業

會議所に於て曩に募集したる家庭工業製品審査は目下中央試驗所長豐永技師其他の審査委員にて着手中なるが最早其大半を終了せしを以て續いて總督府商工課長吉木部長の手に回付し同氏の審査終らば採點數を合算し最も高點者に相當の賞金を授與する筈なりと

◉秋蠶掃立四割增
京畿道

京畿道の夏蠶は既報の如く來る二十七八日頃迄に全部の上簇を終る筈なるが續いて來月二三日頃より秋蠶の掃立を開始す可しと其掃立枚數は未だ調査し居らざれども前年に比し四五割方の增加ある見込にて京畿道蠶種製造所よりは本月二十八日頃より各郡に對し蠶種の配付を行ふ可しと

◉京畿夏蠶上簇期
京畿道

京畿道に於ける夏蠶は昨今の天候不順なるにも拘らず蠶兒の發育給桑等頗る適順にして目下五齡期にあるもの多く本月末日頃迄に全部上簇を終る見込にて產額は未定なれど昨年と大差なく今回は共同販賣の方法によらず任意に販賣せしむるものなりと

◉鮮商銀總會
朝鮮商業銀

朝鮮商業銀行第二十期定時株主總會は二十四日午後四時明月館に於て開催當期利益配當案を附議する由なるが總督府より入江理財課長出席の筈

人事消息

▲榛葉孝平氏(土木局營繕課長) 二十四日夜入京南尾へ

▲橋本寛次郎氏(木浦府尹) 入京中の處二十四日朝歸京

▲橋本滿穗氏(請負業) 二十四日夜入京天眞樓へ

■南言北語■

策士の手に乘つて外濠を埋めた大阪城は其の陷落を疾からしめた▲南方軍務院解散は何だか策士の成功の樣にも見ゆる▲不平滿々たる岑春煊は遂に龍濟光と雌雄を決すべく先づ佛山で血祭をやつた▲南方の眞田幸村か今後何の樣な活動をやるのか見ものである▲去る五月二十八日の米國シカゴ新聞に據れば一千九百十四年八月二十九日に佛像一體を紛失した▲其の佛像を持參の方には一萬元を呈すべしと廣告してあるツマリ一萬元懸賞で佛像を搜索して居る▲其の佛像と云ふのは孫君の守本尊で肌身離さず持つて居た時は萬事トン〳〵拍子であつた▲處が南船北馬何時か紛失して了つてから以來は運勢逆轉し失敗に次ぐ失敗▲孫君も大に弱つて居た結果其佛像は轉々してシカゴの洗濯屋とか酒屋とかに持つて居る事が知れたから此の廣告をしたと云ふ事である▲大黑天を叩き斬つた日本の太閤樣は矢ッ張り豪い▲兎さんの競走の樣に眠つては走せ走せては眠りつゝ徐ろに歩を進みつゝある支那の南北統一も來月一日召集の國會で何うにかなり相になつて來たかと思つたら▲却て妙な風向きになつて來相な▲支那で皇帝になりたい人は蒙古へ行くべしだ▲何でも此頃は大蒙古大皇帝と云ふのが大分に威張つて居るらしい▲其れむや帝制で懲罰せられ相な人は蒙古へ行けば好いぢやないかと▲マサカさうも行くまいテ

□副總裁滿洲行回想の事
夏空や興安までは……の句が今は怪しまれぬ時世の變遷

■東拓の野田副總裁に從いて滿洲一巡の旅をして滿一年の月日が經つた。思へば早いものだ。七月の二十三日は恰かも南大門驛を發して旅程に上つた記念の日だと云ふので、大塊翁を首とし隨行員(東拓支那課長)に僕の三人は其日の夕、パゴダ公園の寶來亭に小宴を催した。三人丈けで語り合うても興が盡ない。聞き手が必要だとあつて[illegible]を客とした。■且つ食ひ且つ語る間にも、大塊翁の顏を見上げれば、行を共にした去年の夏の十四日間の事が長尺の映畫の如くに僕の記憶から引き出されて次から次へと鮮かに浮かんで來る。滿水滔々たる鴨綠江を渡つて安東縣に入ると、支那人街は一杯の水で、馬車で通ると膝込みのところまで水が來て[illegible]。大塊翁は「夏の闇智を學び渡りけり」の句を[illegible]山は煙を[illegible]いて水は溪間に咽ぶ安奉線[illegible]

[illegible]原を觀ろとのみ見て居るうちに、何時しか[illegible]な事件が眼前に現え、居た事。大連に滯在中大塊翁『夏空や興安までは一區域』の句を吐いて萬丈の氣焔を[illegible]。之れが滿洲[illegible]より北[illegible]までもごよめかした事。旅順に行つては戰跡を[illegible]。復び奉天に[illegible]途中熊岳城の[illegible]んだ事。奉天から北行の途、開原に[illegible]いて鐵嶺は動搖のひどい[illegible]行つて、山に登り[illegible]松花江[illegible]窓に[illegible]吉會線を臨む[illegible]下つて江畔の旅亭に蠅と蚊に攻められ乍ら、松花江の鯉を食つた事。長春より副總裁を殘し、館員の吉田君と[illegible]君が加へて東清線で哈爾賓に進出して夜半公園のダンスを見た事。哈爾賓の河井氏に露西亞料理の御馳走になつてザクスカの美味に舌を鳴らした事。そんな記憶が一切呼び興されたのである。當時父を失つて[illegible]、哀思抑ふる能はざりし僕にとつて、滿洲行の二週間は如何に多くの慰藉を與へたるか。……■大塊翁も亦同じく今昔の感に堪へぬらしく、僕に語つた一節だ。

▽大塊翁の曰く 歳月の行くこと矢の如しとは古人が云つて居るが、吾輩の滿洲旅行も早や一週年と相成り、卽ち昨年の今日であつたが、彼の『夏空や興安までは一區域』といふ拙者の駄句が、支那人の怪しとする處となつたのみならず、在滿邦人間に於ても彼の通り怪しまれたのであつた。思へば世の中の變轉も亦矢の如きものである。今日興安までは一區域と云つたとて、支那人でも誰でも誰が怪しむものがあらうか。■然るにだ、實質上に於て滿洲の事業が何程進んだか、此點に於ては吾輩の慚愧に堪へざる所である。其後僅かに彼の時の主張であつた鞍山站の鐵鑛を滿鐵が着手すると云ふ聲のみにて、未だこれと云つて何等事業として見るべきものが無い。尤も當時を回顧すれば內地朝鮮と云はず、滿洲に於ては地所が新聞の問題となつて居たが、今日は鑛山に進んで居る。併し問題は起つて居るが實行は進んで居らぬ。今後は此の世の中の變遷に打棄てられぬやうに大に行るべしである。これも畢竟我輩の主張する滿鮮統一の事業が就らざるに因るべしと思ふ。統一の論も幸に政府の問題となつて居る故、茲に改めて喋々の要もないが、速く之れが成功を希望すると同時に、滿洲開發の事業も遲延なく實際に成功する事を祈るのみである。吾輩此處に會合して當時を記念するに方りては聊か滿鮮の將來を祈るの情に堪へぬ(文中尙生)

購買廣告
一 日本毛織株式會社製特參號絨地 六百參拾八碼四分
一 納入期限 大正五年八月十四日
一 納入場所 京城監獄
右購買ス 供給希望ノ者ハ本月二十四日ノ朝鮮總督府官報掲覽ノ上八月七日午前十時迄ニ入札スヘシ
大正五年七月二十四日
光州監獄

書畫研究會員募集 男女
科目 (書法)楷、草、隷 (畫法)花卉、翎毛、山水
教授日時 毎週水曜、土曜 上午九時至十二時女子 下午二時至六時男子
京城長谷川町(古今書畫舖內)
書畫研究會

地方注文取次 學校銀行必買品 報酬贈與 照會二錢要 東京淀橋東光園

痛快な八月號出づ 夏休には是非讀ませたい
大懸賞 名產募集 日本全國 一回二百數十名當選
新少年
勇ましい讀物滿載 一冊二十錢 送料一錢
東京神田錦町 平和出版社 振替東京八七八七

小資本にて金儲け現る
新案登錄器械にて活動寫眞の興行が輕便に素人にも出來る他に比類なき金儲機械(壹百錢限り壹割引)委細說明書にあり郵券二錢送れ
東京淺草八幡町 振替東京一六六八八
大澤商會

第十期決算公告 (自大正四年六月一日 至大正五年六月卅日)
貸借對照表

貸方	金額
株金	[illegible]
諸積立金	[illegible]
未拂金及預り金	[illegible]
仕拂手形	[illegible]
當期利益金	[illegible]
計	[illegible]

借方	金額
未拂込株金	[illegible]
土地建物及機械	[illegible]
什器工場用具及準備物品	[illegible]
棉花前貸金	[illegible]
納掛子代其他未收入金	[illegible]
商品勘定	[illegible]
木浦綿花買入所出資金	[illegible]
銀行及現金	[illegible]
計	[illegible]

利益金配當	金額
當期利益金	[illegible]
內 法定積立金	[illegible]
株主配當金(壹株ニ付貮圓廿錢 年壹割強)	[illegible]
後期繰越金	[illegible]

右之通ニ御座候也
大正五年七月廿一日
朝鮮棉業株式會社
取締役社長 谷口房藏
取締役 秋岡義一
同 北川與平
監査役 渾大防芳造
同 大高敏之助

鐵道巴町 青木古物店 何でもある 安價注文を乞ふ

京日案內
普通(一回前金三十錢 匿名一回毎に金五錢增)
番外(一回前金六十錢 匿名一回毎に金五錢增)
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず

普通
◎讓渡 京城目拔の場所旅館安價讓渡す 至急御來談 黃金町郵便所向ひ 增田氷店 523
◎店員 數名至急入用 但十五歲より十八歲迄 大田春日町 蓬萊町三巴 三巴酒造店 524
◎貸家 南米倉町和田邸前 二階建眺望佳 水道共二十二圓 湯殿付 電話二三三六番 寫眞館 525
◎求 燒物煎餅職人入用 希望者は一報あれ 平壤南門町 芦田商店 527
◎求 記者希望 青年但二十四五歲迄 履歷書携帶午前十一時迄本人來談 京城櫻井町二丁目一九二番 山口 521
◎遺兒 生後六ヶ月姓健全血統正しく發育よき男子慈愛深き御方に遣し度し 本町二丁目 梅屋 電一六七
生後二ヶ月の女子系統血統共に正しく貰受け度方は御照會下度候(好名生記)
◎古本 熱心高價買入 △御報參上 △本町四 是非御試しを乞ふ △書泉堂 電話二七八一番 687 512
△京城明治町フランス教會正門前 ホネツギ▼うちみくじき治療 荒川仁壽堂 電話二九五番 614

番外
京城春川間行自動車 京城春川間毎日午前八時出發 貨金片道四圓 南大門通一丁目 廣橋自動車 電話二一九番 617
恩給年金退職料 低利便利に即時立替 何年分でも 京城若草町 特別御便利如何樣にも御相談 西村商會 648
恩給年金 低利 即時立替 保證人不要 短期無保險契約 京城永樂町一丁目 商品陳列館表門前 江州屋 625
はねつぎ(うちみくじき)等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 632
齒科口腔診療 龍山齒科醫院 龍山榮町 電話五五番 673
明治生命保險株式會社 代理店 山口呉服店 京城本町二丁目 電話九三九番 670

滿鮮第一 漬物味噌問屋 嶋屋本店 京城岡崎町

定價表無代進呈 秋播種子 平壤 內田百花園

[illegible]漁者は殆んど網を撒するに至りたるが本期鯖漁獲高を見るに巾着網一統漁獲高三十五萬尾鰆網七統六十六[illegible]尾の[illegible]四百二萬五千尾を揚げ漁價は契約相場を除くの外始終二錢以上の高價を[illegible]

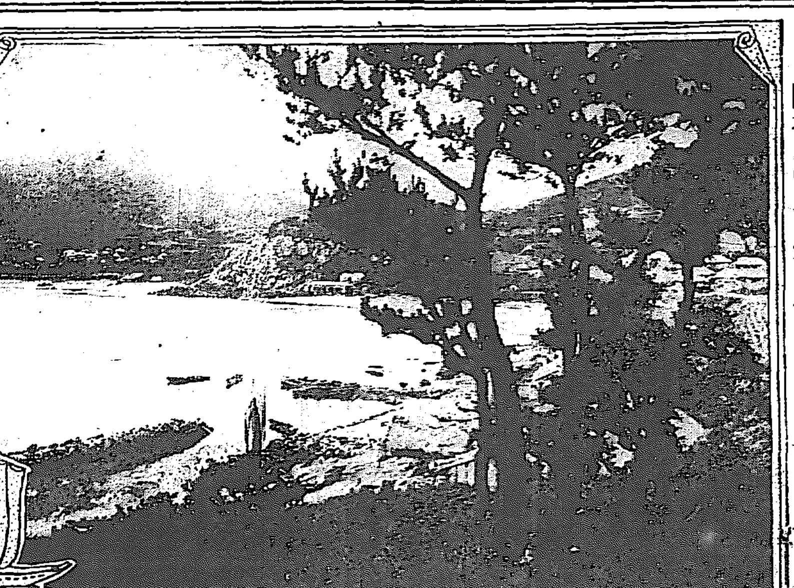
「[illegible]百二十八圓輸入十七萬一百六十五圓合計五十七萬一千五百九十三圓にして前年に比し輸出[illegible]

[illegible](三〇)は[illegible]午後六時頃同面南里の尹萬振方に平素犬猿の間柄なる沈鍾鉉が居れるを[illegible]月の處分となる

◉僞憲兵　慶北榮州郡順興面邑[illegible]たる際同人が大聲に救ひを求めし爲め洞民多數集まりたるより逃走したるも折柄增水の爲め附近の小川を渡[illegible]

[illegible]洞[illegible]方に雇はれ居れるが數日前家人より命せられ電信爲替券二圓を光化門郵便局より領收して[illegible]さず横領消費したること發覺し[illegible]署に引致さる

◉渡渉中に溺死　全南松汀里[illegible]



□松島の海岸……釜山……

凉味(五)

◆松島の海水浴◆

◇松島の海水浴、何んと涼しい名ではござりませんか、ほんとうに涼い波と白い砂と翠の松と、靜かな風と涼しい〳〵所であります。

◇松島海水浴場は釜山の海であります、釜山の西南、岩南半島が手の如うに海の中に突き出た所、岬には松が一面に茂つて居ります、日本海の荒波は直ちに巨の根の岩に來て砕けます。

◇白銀な砂を敷き詰めた如うな波打ち際の綺麗な砂から眺だけ程ばかりの遠浅が十四五間の間海の方へ三四町も續いて居ります。

◇海水浴場の設備が殆ど完備して休憩室淡水温浴場、賄所なども附いて居ります、釜山の南濱海岸から船に乘れば十五六分で行きます。

◇風流な紳士の家も俟られます、珍らしい魚や貝類や海苔などがいくらでも採れます、夕方になると漁師の船が數千となく松明を焚くのが見られます。

◇　◇　◇　◇

國境吟行(4)

朝鮮の山と支那の山
朝鮮人の蕃業は殷盛
白水參謀長談

三日楚城を出で二箇所の渡船を渡り江口に出でたが時既に江水凄まじく增し小渡船場を渡るさへ時に危ふかつた再び舟に棹して滿浦鎭に向ふ途上日昏れ風强く夜九時漸く滿浦鎭に行き着いた内地人七人鮮人六十戸二三百人。山巒は今迄の

◇旅中第一の　風光壯大な地で江に突出した斷崖絕壁の上に守備隊あり江の上下流を一眸の裡に斂め得べく軒前庭後朝夕鷗鳥來り啼くと言ふ。四日更に江上の客となり楚山に入る舟行廿二里。楚山には内地人一百戸あり鮮人三百戸、邑は江口より一里半の箇所にある。馬賊は對岸の諸所に出沒し楚山附近殊に甚しと云ふ事で炎でも見たいものだと思つたがさう都合よくも行かなかつた。江岸一帶の住民には更に國境など云ふ感じも無く概して支那人の商品が廉いので

◇舟に棹して　對岸隣國に豆腐買ひ野菜買ひに行く。隨つて此岸でも支那貨幣を流通させてる。往々面事務所の納稅に平氣で支那錢を持込んで困らせる事があると謂ふ。鴨綠江水を間に相對した朝鮮の山と支那の山の對照は面白い、支那の山は朝鮮人が支那人と一緒に燒いて耕作する爲め禿げて赭く、朝鮮の方は監督嚴しい爲め黑く繁つてゐる。其れが著しく眼に映ずる程だ。五日、楚山を發して徒行一里半江口より舟中の人となり碧潼に到る水路十三里内地人五十人あり景色絕佳にして

◇當局の獎勵　も宜しきを得たる爲めに鮮人の蕃業非常に殷盛で隨つて民富み郡廳で買上げた代金を仕拂へば『怎麼に澤山の銀貨を一體怎すればいゝんです始末に困る』など反問する程に素朴な人民もある有樣だ相で一般に景氣よく此春から廿餘戸の新築改造の家があると云ふが其が又非常に立派なもの許りだ六日朝六時碧潼を立ち江を下り晝の十一時昌城に到り午後一時再び舟に乘り夜十時新義州に著く。此日の舟行四十里。增水一丈四尺と稱せられ濁流滔々舟行く事矢の如し。新義州に到れば時恰も舊暦

◇七日の月影　淸く乃ち一詩無かるべからずと

千里孤舟下鴨流。滿天梅雨使人愁
布帆無恙歸來晚。雲霽月明新義州

又

鴨綠江流碧似油。白雲何首去程悠。
檣欣斷續月明滅。一片孤舟入義州。

實際は鴨綠江流は黃濁して決して油より碧なことは無かつた。——是れで先づ此行の大體を終り七日は新義州及び義州の守備隊を見、八日は安東市街を瞥見し更に新義州稅關長寺尾氏の好意によりランチで鴨綠江口を視察した寺尾氏は三十年前の舊友で氏と握手袂別したのは我輩が北海道師團參謀として

◇日露役出征　の途次新宿ステーションに於てで、以來初めての邂逅なのだ懷古一詩を吟じて贈る

一瞥回頭十二年。春花秋月恨綿々。
相逢今夜同忘老。合學長鯨吸百川。

九日は豫定外であつたが鎭南浦に到り日淸日露の兩役を懷古し豫定よりも一日早く十日歸京。(完)

◉二千名の貧民

遼源縣公議會を襲ふ

遼源縣にては豫て防穀令を發し居るにも拘らず鄭家屯の某々糧棧等は窃かに高粱四千石(時價五萬圓)を戎克八十二隻に積込み三江口より營口に輸送せんとせしを官憲にて探知し全部を押收し一時同地公議會に搬入せしを貧民等は誤解し自分等に施與さる穀物なりとし之を乞はむとて二千餘名のもの同會に押寄せしを多數の巡警が制止する際一人の小兒を毆打死に至らしめしかば終に貧民の激昂を買ひ事態容易ならざる模樣に同地知事は百方慰撫に努め被害者遺族に若干の弔慰金を與へ右の巡警等を相當處分し一先づ鎭撫せしも尚不穩の模樣あるより目下警戒中なりと(大連)

◉爆彈を投付く

桑港の大椿事

桑港に擧行されし軍備擴張示威運動の行列進行中見物の群衆を目懸けて爆烈彈を投下したる者あり爲めに死者八名負傷者二十九名を出せり犯人は未だ不明なるも兩員寄宿舍に止宿したるもの一名嫌疑者として直ちに捕縛されたるが同人は此の事件に關し告狀を發したる疑あり(桑港電報)

◉公金窃取犯人

全南順天郡順天面大郵便所書記尹米夏(二三)は七月三日遞送行囊より公金一千餘圓を窃取して其儘逃走し行衛不明となり其筋にては嚴探中の所二十一日平北新義州警察署の手に捕はる

◉李王職買上の虎兒

[illegible]に李王職にて買上げたる江原道[illegible]里憲兵派遣所に於て捕獲せる虎兒は漸次衰弱し十三日遂に斃死せり

◉外人殺し就縛

輕井澤外人宣教師殺し發生以來其筋に於ては犯人嚴探中なりしが右犯人は水戸市生れ洋服職工飯島宇吉と判明せり(東京電報)

◉殺して密葬

京畿道長湍郡大江面蕁小里韓成淳妻黃氏(二一)は夫の實弟なる韓成大と私通して懷姙したるより世間態を恥ぢ同里亡韓大千妻金氏(四一)に相談したるに分娩の際便所內に產み落すべしと敎へられ黃氏は三月十九日城府郡泉峴面大陵里の實家に立歸り四月十八日午後十時頃便所內に產み落して嬰兒を窒息死に至らしめ同夜密かに裏山に埋葬したること發覺し兩名は此程其筋に引致されたり

◉海賊船に出遭ふ

十八日午後二時頃臺中廳大甲支廳下船頭埔派出所管内福德港に一時碇泊したる二隻の支那船あり同船員の談る處に依れば十七日大安港沖合二哩の海上にて黑色三本マストにして百石積程の海賊船に出遭ひ五六發の射擊を受けたるも沖合遙かに迂回して之れを避けたるにより幸ひに何等の被害をも蒙らざりし由右二船の中一隻は金合成號と稱し銃器三挺槍十數本を所持し支那人十四名乘り込み居り他の一隻は金成發號と稱し乘込員其他判明せずと(臺北)

◉漢江で溺死

高陽郡纛島面西纛島金用成(二三)は七月十八日午後八時頃自宅下の漢江にて遊泳中折柄の增水の爲め忽ち押し流され溺死せり

□筆寶明樂齋

◇◇◇◇

明樂齋、女大擧で白[illegible]と稱する德富の命婦さん三宅友枝子は[illegible]で翌が三度目だと二三日前京城へ入り込んで盛んに[illegible]の氣焔を揚げながら[illegible]てゐる貴紳の門に出入すると云ふのが此のお婆さんの自慢で中村關東都督、中村滿鐵總裁、本郷遼陽師團長、大谷前師團司令官、其他名士の[illegible]なども集めてゐるのは調法なものでそれでも去年は樺太滿洲蒙古其他で五十七萬十二萬哩の行脚をしたとは凄いものだ

◉縊死青年の身許

去る二十一日夜仁川西公園附近の桐の木にて縊死を遂げたる青年は京城黃金町四丁目小菅啓三の甥河村金之助(二〇)なる事身元判明し屍體は右小菅啓三に引渡されたるが死因は例の如く放蕩の結果我身を持て餘し態々仁川迄死に來りしものと知れたり(仁川)

◉飯泥棒

住所不定の尹相勛(二一)は六月十日京城樓下洞金致雲方に忍び入り白米二斗を窃取したるを手初めに外京城市中六箇所に忍び入りて焚きある飯を櫃の儘盜み出して食し或は昆布、煙草、落花生等の食物のみを専門に働きゐたる所を此程鍾路署に捕はる

□あづま團子の句

◇◇◇◇◇◇

大阪あづま團子を味つて句あり

『何が書いてあるか』と思うて讀んで見たらアッハッハヽヽ』と何を話し出すかと思つたら突然大塊翁が團子の話をし出した。京城日報に載つた『團子のお宿』の事である。成程、毎日二度宛は降つても照つても通る黃金町の通りにそんな團子屋があるかしらと考へて見たが怎もよくわからない。『一つ今日は歸りに寄つて見てやらう』と思ひ乍ら其邊になるとつひ忘れてしまつて大塊翁の頭には發句の事か何か浮んでゐた。其れが或日東拓の門を出るとすぐ俥屋さんは思はずドッコイショと梶棒を握り締めさせられた。大塊翁が車上から聲を掛けたからである『ウム彼の團子屋に寄つて見てくれ』感心な車屋さんはすぐに其團子屋が、この團子屋かと云ふ事を悟つた。京城日報を讀んでたからである。俥屋さんは頻りに走り乍ら『成程京城日報は讀んで置くべきものだ哩』と今更らしく考へた『ハハア、成る程美味か、ハハア』大塊翁は歸へるとすぐに包を開かせたが一串喰ふと直ちに獨り悦に入つて瞬く間に五六本の串が拋り出された。其間に不圖句が浮んで出た『暑氣拂ふムシヤ〳〵』團子を吮ひ乍ら發句を吐くのだが間違つて句を咬つて團子を吐かねばよいがと思ふうちに箝する程もなく句が飛出した。

暑氣拂ふ東團子や香薰る

『誰か來んもんかなア。誰か發句の判るモンが來るとゑゝが』と獨り出來たての發句に見惚れてると恰度お誂向の無佛居士が來た。で早速翁は句を見せ團子を薦めた。居士も早速團子を御馳走になりそして句を見た。『實際、コリャ美味か』居士はムシヤ〳〵と團子を喰つた。喰ひ乍ら褒めたのだから團子を褒めたやうでもあるが大塊翁は勿論句を褒められた事と思つた。『美味からうハハア美味からう……』『ヤツ失策ッた』と突然無佛居士は皿の中に喰ひ掛けの串團子を投出した。麻の夏服の上著にポッツリと團子の汁が小さなお團子の樣に斑點を滴らしてゐた。

◉岩壁から墜落

京畿道抱川郡永中面城東里梁吉老(六二)は十八日午後一時頃附近の小川岸にて遊戯中高さ約六尺の岩壁より河中に墜落して溺死せり

◉屍體を放置す

仁川和平洞村敬天(四五)は本年二月中大腸化膿性筋炎に罹り京城南大門通五丁目セブランス病院に入院加療せしも本月十日遂に死亡したるが主治醫は其屍體の埋葬方に就き朝鮮人の某事務員に手續き方を命じ屍體は其儘屍體收容室に放置したるに右の事務員は之れを忘却し十日間を經たる廿日に至り腐爛したる汚臭に依て初めて氣附き大に驚きて其手續きを濟したりと

◉二名の壓死

去る十九日の强雨の際全北全州郡上關面金京西(四三)の住宅は午後十時半頃避難の暇もなく俄然破潰し前記金は全身に打撲傷を負ひ生命危篤に陷り妻鄭姓女(三九)長男讃吉(一七)三男莫洼(一)の三名は無慘に死去したりと

◉元山の大相撲

二日目の勝負

元山に於ける東京大相撲二日目の勝負左の如し(元山特電)

勝	綾鶴	大門岩	港	中	龍ヶ崎	梅ノ川	岩木山	宇都宮	兩國	岩木山
負	兒島洋	常の花	駒泉	入	逆鉾	朝綠	近江富士	釋迦嶽	栃木山	大錦
勝	王柳	成瀨山		後	稻葉嶽	大の川	紫雲龍	九州山	綾川	
負	男島	朝日山			四海波	宮城山	小常陸	源氏山	對馬洋	

◉大相撲元山發

元山に於ける東京大相撲一行は二十四日午後五時盛況裡に千秋樂を告げ同夜午後九時三十分元山出發鐵路平壤に向へり(元山特電)

◉流浪して病死

咸南德原郡豊下面石泉里に朴景俊(七[illegible])と云ふ男あり生れは全羅北道羅州と許りで其他不詳身内の者とて今は獨りもなき孤獨の身二十年來流れきて以來一定の住所も定めず臼の叉切りを職業に年から年中渡り行きて其日の糊口を凌ぎ居りしが先日來より老衰病にて同地の四統九戸朴允振方にて就床中途に死亡するに至れるが朴景俊は生時死後の用意にとて畑二日耕分を買ひ求め居りし事を發見せりと

◉小兒の溺死

全南光州郡大村面農幕里李允洙三男李德奉(三)は居宅前にて遊戯し居る中附近の井戸に落ち溺死せるを母親が程經て發見せりと

◉硝子泥棒捕はる

江原道鐵原生れ住所不定金化敬(三九)は二十一日午前四時頃京城本町二丁目某の所有に係る大和町二丁目の空家に侵入し硝子障子の硝子二十三枚六圓餘を窃取し本町署に引致さる

◉鳥致院の婦人會

鳥致院にては二十五日午後八時半より婦人會ある由

—運—動—欄—

◉倭城對青年會野球戰

倭城俱樂部對青年會の野球試合は二十二日午後三時城東訓練院に於て行はれたり當日は半晴の絕好野球日和のこととて觀客場内に溢れたる先づ青年會の先攻に始まり第一回に三點を得稍得意の色見ゆれしも倭城に五點を得られ二回青年會得點なく倭城二點を入れ士氣頗る昂がれり三回五に得る所なく四回五回共青年會各一點を入れ倭城又一點を加へ八對五の成績を示し兩軍愈々緊張し攻守共堅固にて觀客益々興に入れり八回目青年會得點なきに反し倭城更に一點を加へ益々優勢となれるが此の際青年會たるもの宜しく最後の奮闘を爲さゞるべからずとて俄然打擊順變更の議を提出し最終の一回にて一擧に恢復を圖らむとしたり斯の如きは試合中稀に見る所にして敗軍側の決死的態度を示すものと云ふべく幸に宏量なる倭城軍は此議を容れ戻の技倆を發揮せしむべき機會を敵に與たるは寔に武士的にして眞に稱讃すべき事たり果せる哉青年會は强打者のみを以て攻擊を開始し辛くも三點を得たりしも後援續かず遂に九對八A付にて惜しき敗を取りたり

讀者の聲

近來野球熱の勃興は愉快だフレーフレー(野球狂)

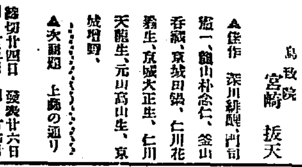
弱虫迄はヤレ避暑だの何のと意氣地のない弱音を吐いて居るが我運動家の士は宜しく運動を盛にして暑氣などは擊退しやうではないか(運動家の一人)

水の時季が來たボートが盛になり水泳が盛なり誰れか漢江邊で水上運動會でも催す人はないか(河童の子)

讀者文藝

(一等には五十錢の[illegible]を呈す)

△飯め繪



○夏帽子と龜(一等)　鳥致院　宮崎拔天

▲佳作　深川緋醍、門司監一、龍山朴念仁、釜山香瀬、京城田鶴、仁川花翁生、京城大正生、仁川天龍生、元山高山生、京城增野、

▲次回題　上島の巡り

謎『夕立と掛けて』	締切廿四日	發表廿六日
狂歌『醉雨』	同廿五日	同廿七日
俗謡『夕顏』	同廿六日	同廿八日
川柳『白』	同廿七日	同廿九日
物は付『馬鹿らしい〳〵馱いものは』	同廿八日	同卅日
次回『はめ繪』	同廿九日	同一日
一口噺題意	同卅日	同二日

▲募集規程　▲用紙に端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲應募は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事總て一種二句以内の事▲此規程に據らぬものは沒書

縮緬兵兒帶　勿驚本物一筋タッタ貳圓

東京市日本橋區本石町一丁目縮緬問屋開谷商店にて賣出したる純絹保證縮緬兵兒帶は品質極めて上等にして然も大巾一丈物先に七圓五十錢賣れの品タッタ四圓に八尺物四圓賣れの品タッタ二圓と云ふ未だ曾てなき大法外の廉賣で何んで投賣をなし且つ大賣出の紀念として特に大奮發をなし美術を込めし西京西陣製の模樣女帶地を兵兒帶一筋の注文毎に一筋宛の無代進呈をなすと云ふ圖に希望者はハガキにて申込ば代金引換送料も賣店で送る由

酒煙草きらひになる藥　禁酒丸……禁煙液……

どんな酒煙草のみでも害なく心からいやになる郵券二錢送れば說明書及大澤博士其他名士の禁酒禁煙論進呈

本舖　大阪市靱南通二　森田商店

樋屋　奇應丸　小兒良藥

專治　소아의실신간질　급발싱열증

等に奇効神の如し　到る處の藥店に有り

樋屋合資會社　大阪天滿橋

新刊書御案内

書名	著者	定價
英文みだれ草	片山寬	一、〇〇
小さき泉	武者小路實篤	八五
ポケット俳諧季寄	今井柏浦	四〇
ポケット書翰便覽	松雲堂編	四〇
意匠文案廣告チラシの拵らい方	淸水正巳	八〇
世間で求むる理想的店員	山木邦之助	八〇
最近十五年間官立諸學校入學試驗漢文問題解釋	遠山	八〇
ローマ字文自在	日下部重太郎	五五
草字彙	物集高量	二、八〇
趣味の日本史上卷	新保磐次	二、五〇
校定源氏物語詳解	池邊、窪田	三、五〇
國民道德要領	吉田、藤本	一、五〇
高杉晉作	横山健堂	一、三〇
五個排列漢字典	オロセンベルグ	一、五〇
處世應用孫子講話	塚原澁柿園	八五
日本の精神	杉浦重剛	一、二〇
新譯皇朝靖獻遺言	蜂間信吉	九〇
求むる心	長與善郎	一、二〇
漫畫と落語のどぼとけ	久世勇三	九五
世間學	浪六	九五

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六　振替三　京城二五九

□ジヨキニカケテムシタムギ
□エイセイジヨゼヒメシマセ
滋養　衛用　大福麥
京城南大門外　池田製麥所
□電話にて御注文は多少に不拘御届申上候
□ハガキ御注文は切手代御送り申候

花柳病科專門　外

◉梅毒◉淋病◉泌尿生殖器病◉睾丸病◉肛門病◉皮膚病◉婦人病◉神經衰弱◉六〇六注射包皮其他手術◉入院隨時　毎日診察無料

京城南大門通[illegible]行裏　司生堂醫院

珍　◉帝國貨幣古今集掛軸販賣員募集　利益多賞有　東京淀橋東光

贊化病院　京城本町二丁目　電話二四一番

內科　小兒科　入院隨意　毎日五名を限り無料施療す

醫學博士　古城憲治
醫學士　上野亮藏

腐敗し易き牛乳よりも暑中は次亞燐が最も適當

次亞燐　本舖　大阪道修町　小西久兵衛　試用の四種あり　賣捌は各藥店に

內科外科一般　龍山元町二丁目電話二五八番

イツキ　齋醫院

往診午後二時より午後六時迄

醫學士　齋勇

故父元世亨葬送の際には不拘遠路御會葬被下感謝の至りに候乍略儀不取敢紙上御禮申上候以上

大正五年七月廿一日

長男　元應常
二男　元殷常
三男　元勳常
四男　元惠常
五男　元宜常
六男　元鏘常

渡邊默禪

『五五』お前の父は

秀子は松手したやうに笑いと立揚つた。そして四阿の外へ出て月明りにぐるりと周圍を回看したが、何の影つたともなかつた。
『誰れも來はしませんわ、伯樣。』
『さうかね。何だか人の足音らしいのが聞えたが…私の氣の故かねえ』
餘りに神經の過敏になつた自分を嘲むやうに微笑して、沈靜いた體を再び四阿の柱に凭せかけた。
『ね、秀子。私だち二人の身上には私より外に知らない大きな秘密があるのですよ。今日といふ今日、お前の精神をようく見拔いたから、安心してその話も能きるやうな譯。實のところお前がこのお腹に宿つてからこつち、二十年の長い間といふものは、どんな懇意な人にだつて只の一言洩らしたとはないのですから、お前もね、どうかその心算で聞いて頂戴よ』あらたまつた語氣も噛くやうに低かつた。
『へねー、どんたとなんです』秀子は意外らしい顏で摺寄つた。
『喫驚しないで下さいよ』
『ね』唾を呑んで目を瞑つた。
『お前はお前のお父さんを一體誰だと思ひだね』
『あら、妙なことを……分つてるぢやありませんか』
『さ、その分つてる人がですよ。それは眞の表向だけのお父樣なんで、實際のところはね、秀子』宣告するやうに倩さなつて『米國人のハンス、マルラーといふ紳士ですよ』
と聞いた時に秀子はほとんど急激な腦貧血でも起したやうに、泥としたた心持になつて、全身の筋系統が俄に痺れわたつた。ハッと思ふと忽ちぐらぐらッと眩暈がしていきなり前にのめりさうになつたのを、突と伯の腕に縋りついて、引釣るやうな呼吸を不規則に刻ませた。
『それ、御覧な、だから喫驚おしでないと前以て斷つて置いたのにさ。氣の弱い、何ですねえ、これつぱかしのことに……これ秀さん、確乎なさいよ』離子は流石にその樣子に驚いて、急いで抱しめながら、上衣の衣嚢から紙入を出して、仁丹を噛ませたり背を摩つてやつたりした。
『もう宜しうございます』少頃してから氣の落着いた秀子は、伯の手をはらひのけて、ひよいと起直つた。
『大丈夫かね。如何したんだね、眞に……』斜めに射込む月明りに、娘の顏色を覗つた。
『だつて意外ですわ、伯樣。この齡になるまで、夢にもそんなことを知らずに居たんですもの。そして其のマルラーといふ方は一體どんな人なんです。どういふ關係で伯樣と……』
『その方かね』背を凭ふ離いた笑を小鐵の波によそがして、眞白な齒並を月の微明りに見せた。『米國のボストンで生れたんださうだけれども、兩親とも獨逸の人で米國に歸化したんだつてさ。その時はちやうど横濱のヘルム商館に支配人をしてゐて三日にあげず東京へやつて來たものさ、何でも二億からの資本をもつた大きな木社から、日本の商業を任せつぱなしにされてゐるくらゐな人だから、分外に太ッ腹の、切離れのい、そして遊び上手な才子肌の人でした。私と關係するやうになつた動機は、國に居る時に深い馴染だつたグランドオペラ會社附の女優でオーラ孃とかいふのに私の顏がちよつと似よつてゐたからだつて、よくそんな話をしましたよ。いつかの凱旋の祝を出した時なんか、毎晩のやうに自動車で迎ひに來ちやあ、樂屋口に待つてゐたもんです。私も始めは虫が好かなかつたんで、いゝ加減にあしらつてゐましたけれども、弱い女の、しかも華を賣る稼業ですからね。とう〳〵根負がしちまつたんですのよ。すると其處へ今の父樣、大河野さんといふ新らしいお客が出來たんでせう。双方へ引張風にされるのを、知れないやうに〳〵と跋を合して遣繰りする時の辛さ面白さつてものはありませんでしたの。オッホヽヽヽ』

入院隨時 旭町三丁目十三番地
若槻小兒科醫院 内 電話二四六二番
ドクトル メヂチチ 若槻寛隆

龍山元和歌の家跡(電話三八番)
御料理 あら玉
夏の會席は涼しき風情き漢江を一眸に受けて座席のよいあら玉に限る
漢江遊船は弊店各遊船部と聯絡を取り特に勉強仕候

圖書雜誌廉貸 雜誌古本高價買受
廻讀會 京城本町一 松井松榮堂 電一三七八

新刊紹介

▲世界之產業(七月號) 北部支那欄には天津、北京、濟南、芝罘、南部支那欄には福州、廈門、油頭、廣東等各管内本邦人の現勢な各方面より蒐集せり(△貝租錄東京市麹町區一番町二七產業調査會)
▲水產界(七月號) 明治十五年の創刊に係る本誌は漁事、水產に關して堀號獨得の記事に満ちたり論說、講話、資料、通俗談話の名事特に好評(二十五錢東京市赤坂區溜池町大日本水產會)
▲日本一(八月號) 例の外本號には將棋士研究欄あり其外の小咄挫談は益佳境に入り甘漫の鎖の鏈れ亦面白し(十二錢東京市牛込區神樂坂上南北社)
▲電氣化學(創刊號) 將來益々勃興すべき我國電氣事業に關し斯學に造詣深き學者技術家の賛助を得て斯界の指南車たらんとして生れたるもの電氣業關係者には無二の好侶伴たるべし(二十五錢東京市麹町區有樂町一の三電氣化學社)
▲商と工(七月號) 綜合國經濟會議の是非に就て五博士の所說及び新式商店の組織法、朝鮮工業界の化學發明品、戰後本邦玩具の海外輸出等見るべし(二十錢東京市京橋區新肴町日本商工協會)
▲正則中學講義錄(二學期二號) 會費五十錢東京市神田區駿河臺鈴木町大日本國民中學會
▲ミツワ文庫(七月號) 孫子と商賣戰術、利用、デパートメントストア、スタンダール戀愛論者等の外夏期の注意等に關するもの(十錢東京市日本橋區橘町丸見屋)
▲市町村雜誌(七月號) 行政實例の日誌法其他に關する疑問、行政判例、司法裁判例など好評(十錢東京市芝區田村町六其社)
▲帝國農會報(七月號) 農村問題の研究法、那須皓、副業の奨勵に就て(山田)見るべし(十二錢東京市麹町區帝國農會)

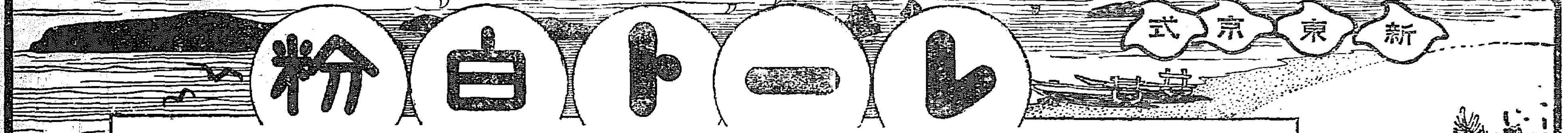
暑中になるとアイスクリームの新入行商人が増ゐるが彼等は實に不潔極まる何とか取締を仕たら何うだらう(?食生)▲此頃市中雜貨屋の注文取が持て來る注文品は能く調べぬと大分曖昧をやる殊に米屋などは大に注意を要する(官舍の女中)▲去る廿三日の本欄に掲載しありしが近時いろ〳〵の外交員が種々なる勸誘に來り自分勝手の領收證を以て金錢を詐取する者あり小生も何氣なく外交員の領收證にて一圓五十錢を仕拂ひたりしに其後何の事もなき故會社へ照會せしに何等手續を爲し居らざるとの事にて驚きたりしが會社の領收證にあらずして一外交員の領收證なる故致し方なく泣き寢入りとなしたり皆々十分の御注意を望む(老婆生)▲無名氏に答へて潔く小生は女を嫌ふにあらず女に親しむ事を憚り厭ふ者也而して絶對的獨身主義を主張し難し神とは造物者に誓へて人間の本性を理想化したる人間特有のものなるべしと思ふ然らば各人は神の存在を認めざるべからず又子孫のあるべき事を是認せざるべからず貴君が黃色人種に依頼心なしとは何等かの根底あるべしと思へども貴君より學識才能の高き多數の人が黃色人種中にあるに相違なし貴君が白色人種に依頼心を有すとも白色人種にして貴君に依頼心を有するものは皆無なるべし然し貴君は思想は大なり抽象的にして冷靜なる所あり宜しく外國へでも行くべしであるそれは兎に角として小生は貴君に一寸薦めたい事がある貴君にして娯樂の必要を知らば我が國の舊劇に之を採る事僅か一箇月なれといふ事である(一面生投)

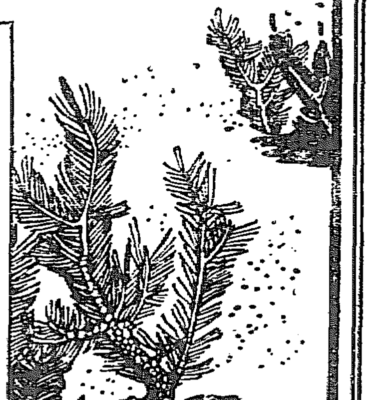
皮徽科
皮膚病 徽毒病 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
入院隨意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元旭町) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

流經新藥レスノリン
月經 閉止 經過四五ヶ月以内ニ應用ノ目的ヲ達シ流經作用ノ確實ナル其他藥ニ優越ス
藥價一圓 送料… 切手代用一割増 說明書呈
發行所 常盤藥院 振替大阪…

慢性りん病 内服藥
本品は彼の梅毒藥六〇六號發見者として有名なるエールリツヒ博士の創見に係る新劑にて…
大阪市南區…丁目 淺田藥局

祝仁川支局發展 仁川宮町 雜貨商 矢上丑之助 電話二五二番
祝仁川支局發展 仁川宮町 時計貴金屬商 廣瀨商店
祝仁川支局發展 仁川濱町 鑄工業 中川龜吉 電話三一七番
祝仁川支局發展 仁川花町一丁目 坂倉伊平商店 電話六五〇番 京城吉野町一丁目 坂倉伊平支店 電話二四四一番
祝仁川支局發展 仁川仲町 乾物商 春武源吉 電話二五七番
祝仁川支局發展 仁川支那町 中華商務總會 會員一同敬白 電話四四九番
祝仁川支局發展 仁川山手町 上原觀樂園
祝仁川支局發展 仁川本町 陶器商 山口又一 電話三一一番
祝仁川支局發展 仁川新町 平岡活版所 電話五三〇番
祝仁川支局發展 仁川萬石町 土木請負 佐藤義亨 電話八一三番





避暑とお化粧

避暑地の美容法

涼しい山や海邊で暑さは忘れられますが必ず日焦の恐れがあり、殊に海邊の潮風に吹かれては肌は荒れるばかりで御座いますが、避暑地の美容法として、常にレート洗粉で清淨に洗ひ落したお肌にレート乳白化粧水を塗けて、よくお肌に浸み入るやうに擦り込んでお置きになれば、汗を去り、浮脂を抑へ、從つて汚垢が附かず、日焦の憂ひがなく、素顏はいつも綺麗で御座います。而して殊更らしくない隱化粧としてはホンノリ色白くなるレートフードをお召しになるに限ります。

夏向のお化粧法

夏向殊に避暑地のお化粧は淡洒とした淡化粧に限られます。それには新東京式淡化粧と申しまして、レートチエリーを白粉下としてレート水白粉をお塗けになりまたレート煉白粉であれば透明レートを溶水となさいますれば一層宜しく、またクレームレートをお化粧下にしてレート粉白粉を紛刷きなさいますなど、何れも新東京式淡化粧と申されるだけあつて、淡洒として粋で、然かも上品で奥床しいお化粧栄が致しますので、避暑地のお化粧には此上もなく相應しう御座います。

新東京式の白粉

レート白粉が新東京式お化粧に唯一の白粉だと申されるのは、第一、鉛分のないのは素より分子が極めて細かいので附附が自由で、第二に落附が美事でお瓶に斑が出ずまた化粧崩もせず、お化粧映れて美くしい上にレート特有の奥床しい芳香を持つて居るからで、東京の流行界にレートが專用されるのは理由あることで御座います。尚ほ夏の外出には、汗を拭き化粧崩れを直す爲めに、レート紙白粉とレート打白粉とが專用され、汗抑用としてレート新打粉も愛用されて居ります。

山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

最上醬油 朝鮮仁川港 高杉醬油釀造場

大邱浦項間自動車時間

上り	一番 前	二番 後
浦項發	[illegible]	[illegible]
安康同	[illegible]	[illegible]
慶州同	[illegible]	[illegible]
阿火同	[illegible]	[illegible]
永川同	[illegible]	[illegible]
河陽同	[illegible]	[illegible]
大邱着	[illegible]	[illegible]

下り	一番 前	二番 後
大邱發	[illegible]	[illegible]
河陽同	[illegible]	[illegible]
永川同	[illegible]	[illegible]
阿火同	[illegible]	[illegible]
慶州同	[illegible]	[illegible]
安康同	[illegible]	[illegible]
浦項着	[illegible]	[illegible]

浦項 電話七番 大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行(外航所屬航路(遠洋航路を除く)の船の時は五分引を以て各港路切符發賣仕候)
○須磨丸 八月一日 / 安東丸 七月廿七日 / 天智丸 八月四日 後五時出
×鎮南浦、龍岩浦、安東縣行 ×義州丸 七月廿五日 後二時出
○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 ×信濃川丸 八月廿七日 / ○信濃川丸 八月九日 後二時出
×南浦、關門、神戸、大阪行 ○須磨丸 七月廿日 後二時出
○鎮南浦、大連行 ×信濃川丸 八月廿二日 / ×信濃川丸 八月四日 後二時出
○大連直行 △日米丸 七月廿八日 / ×福州丸 八月六日 正午出帆
○群山、神戸、大阪行 宮島丸 月 日 後五時出
○群山、釜山、横濱行 ×福州丸 八月十二日 / △日米丸 八月三日 後二時出
○清津、浦潮行(元山出帆)(▲印ハ城津西湖津ニ寄港 浦潮不寄港) ▲安平丸 八月七日 / ▲宮島丸 八月十三日 後二時出
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 湖北丸 八月十二日 後六時出 / 城津丸 七月卅一日 前四時出
御注意 運賃及び南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣 ○印は…
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話七〇八番 京城切符發賣所 內國通運會社 電話二番

朝鮮郵船仁川出帆

本社及社外船 京城南大門通 松原運送店(電話一七〇番)
○全羅丸 八月十一日 / ○京畿丸 七月卅一日 / ○黃海丸 八月四日 / ○成鏡丸 八月十四日 (門司より釜山各港經由) 釜山發
○德城丸 八月一日 / ○昌平丸 七月三十一日 / ○鏡城丸 七月廿六日 (元山より各港經由雄基行) 元山發
○忠清丸 八月十一日 / ○平壤丸 八月四日 元山發
○永興丸 毎月廿八日 元山發
○盈德丸 八月二日 釜山發
○江陵丸 / ○襄陽丸 毎日 釜山發 浦項發
○三浦丸 七月三十日 釜山發
○海州丸 / ○統營丸 毎日 釜山發 ○巨濟丸 ○慶寶丸
○順天丸 三日目毎ニ 木浦發
○公州丸 七月廿六日 木浦發
○慶興丸 八月三日 木浦發
○麗興丸 七月 日 木浦發
○宗信丸 八月廿九日 仁川發
○江原丸 七月廿八日 仁川發
○麗水丸 八月一日 / ○晉州丸 八月五日 仁川發
○錦江丸 / ○南陽丸 毎日午前 仁川發

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○君が代丸 七月 日 / ○大有丸 八月一日 / ○神代丸 八月七日 / ○秀吉丸 七月廿八日 後四時出帆
仁川代理店 高杉回漕部 電話五十九番

日本郵船仁川出帆

○大連、大沽、牛莊行 相模丸 八月六日 / 高砂丸 八月十六日 / 三河丸 七月廿六日 正午出帆
仁川代理店 堀回漕部

共同汽船仁川出帆

阿波共同汽船 芝罘、大連行
第二共同丸 七月廿二日後四時入港 同廿四日前十一時出
西湖津、浦潮行(元山出帆) 第一共同丸 月 日後九時出
第三共同丸 月 日前八時出
仁川代理店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 立神丸 月 日後五時出帆
○元山、清津、浦潮行 立神丸 月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 月 日後五時出帆
○元山、城津、浦潮行 小倉丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三長平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三長平丸 月 日後六時出帆
○天草丸 佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
釜山草梁町 本船取扱店 大池回漕部

商況
大阪株式特電 東京電燈 和歌山紡 合同紡績 日清紡績 五〇・七〇 七一・四〇 一七七・六〇
大阪三品 二十四日前場 七月限 …
下關期米特電
▲依然少堅し
天候報